

パプアニューギニア国
総合コミュニティ開発プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成 22 年 11 月
(2010 年)

独立行政法人国際協力機構
公共政策部

公 共
J R
10-028

パプアニューギニア国
総合コミュニティ開発プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成 22 年 11 月
(2010 年)

独立行政法人国際協力機構
公共政策部

序 文

パプアニューギニア国（以下、「パ」国と記す）では、「総合コミュニティ開発政策（ICD政策）2007-2011」を策定し、住民参加型のコミュニティ開発の重要性を前面に打ち出すと共に、各州及び郡に設置される総合行政サービス拠点となる、コミュニティ開発学習センターフォーカルポイントを設置して、コミュニティ開発のノウハウ蓄積や普及の拠点とすることを目指して取り組んでいます。

「パ」国政府は我が国に対し、ICD政策実施促進のための組織体制強化や、住民参加型コミュニティ開発ノウハウの蓄積と普及を行うための技術協力プロジェクトを要請し、これを受けて、2009年3月から3年間の予定で「総合コミュニティ開発プロジェクト」を実施しています。本プロジェクトでは、ポートモレスビー首都圏及び東セピック州をパイロットサイトとし、ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を推進するために必要な人材、組織、体制の強化を目指した活動を展開しています。

プロジェクト開始から1年半が経過し、プロジェクトの進捗状況、目標の達成見込みを確認するとともに、今後の活動の進め方について「パ」国側関係者と協議することを目的として、2010年8月28日から9月11日まで中間レビュー調査を実施しました。

本報告書は、同調査団による協議結果及び評価結果を取りまとめたものであり、今後の協力実施にあたって広く関係者に活用されることを願うものです。

おわりに、本調査にご協力とご支援をいただいた関係者各位に心より感謝申し上げます。

平成22年11月

独立行政法人国際協力機構

公共政策部長 中川 寛章

目 次

序 文
目 次
地 図
写 真
略語表

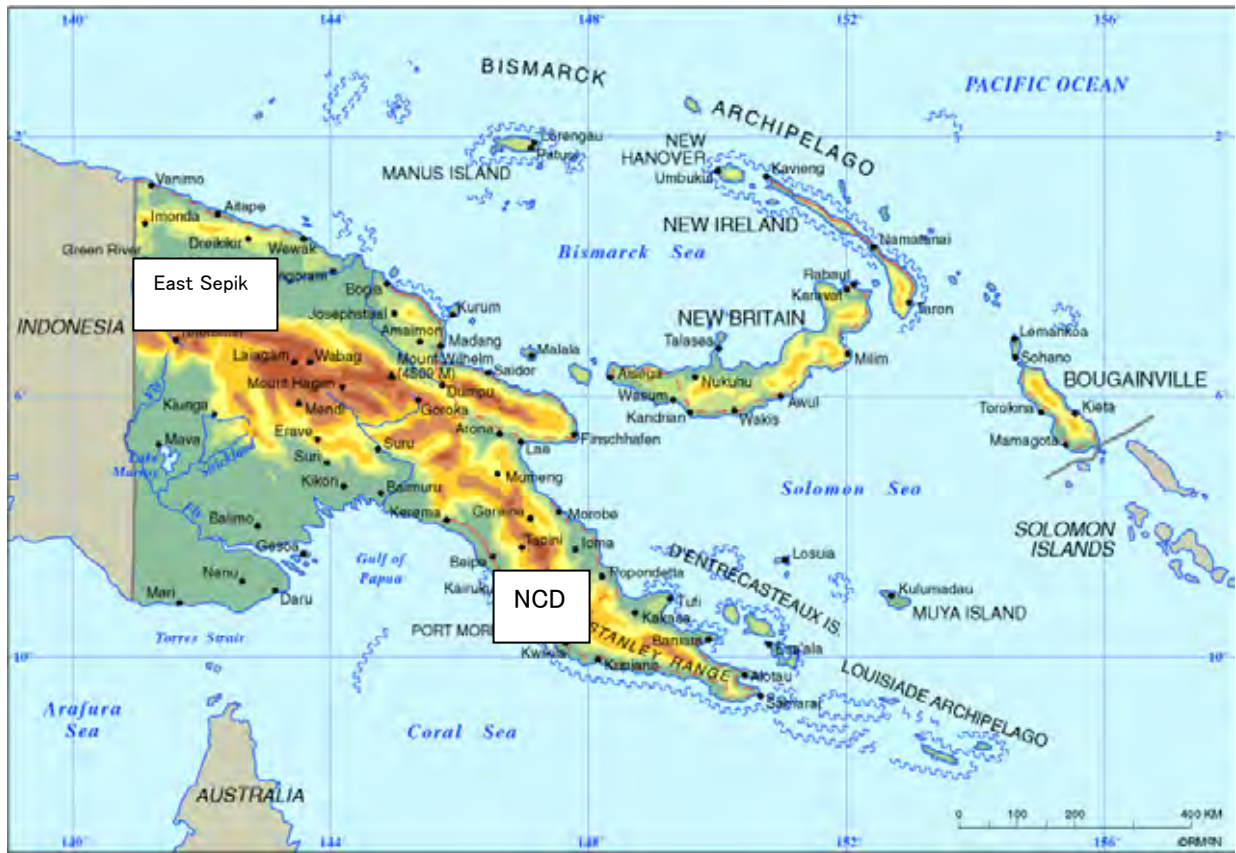
中間レビュー結果要約表

第1章 中間レビュー調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成と調査期間	1
1-3 対象プロジェクトの概要	2
第2章 レビュー調査の方法	4
2-1 調査の手順	4
2-2 調査項目	4
第3章 プロジェクトの実績と現状	5
3-1 投入実績	5
3-2 活動実績	5
3-3 成果の達成状況	5
3-4 プロジェクト目標の達成状況	8
3-5 上位目標の達成見込み	9
3-6 実施プロセス	9
第4章 評価5項目によるレビュー結果	11
4-1 妥当性	11
4-2 有効性	11
4-3 効率性	12
4-4 インパクト	13
4-5 自立発展性	13
4-6 結 論	14
第5章 提言等	15
5-1 提 言	15
5-2 改訂されたPDMに基づく今後の活動方針	16
5-3 団長所感	16

付属資料

1. 調査日程表.....	23
2. 面談者リスト.....	24
3. M/M.....	25
4. 評価グリッド.....	56
5. 質問票.....	60
6. PDM改訂版（和文）.....	69

地圖



写 真



Patiko 村の水委員会



JIC-ES での協議



ポートモレスビーGorobe 地区の CLDC



ポートモレスビーSavaka セトルメントでの
聴き取り



JCC での協議



M/M の交換（左から、水谷所長、武田団長、
Klapat 次官）

略語表

略 語	英 語	日 本 語
CLDC	Community Learning and Development Center	コミュニティ学習開発センター
CLDC F/P	Community Learning and Development Center Focal Point	コミュニティ学習開発センターフォーカル・ポイント（各郡に設置される総合行政サービス拠点）
C/P	Counterpart	カウンターパート
DFCD	Department for Community Development	コミュニティ開発省
DICDAC	District Integrated Community Development Advisory Committee	郡総合コミュニティ開発諮問委員会
ESPA	East Sepik Provincial Administration	東セピック州政府
ICD Policy	Integrated Community Development Policy	総合コミュニティ開発政策（ICD政策）
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JIC	Joint Implementation Committee	合同実施委員会
JIC-ES	Joint Implementation Committee-East Sepik	東セピック州プロジェクト合同実施委員会
JIC-HQ	Joint Implementation Committee-Headquarters	合同実施委員会本部
JIC-POM	Joint Implementation Committee-Port Moresby	ポートモレスビー（首都圏）プロジェクト合同実施委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録
MOA or MOU	Memorandum of Agreement or Memorandum of Understanding	覚書
NCD	National Capital District	首都圏
NCDC	National Capital District Commission	首都圏庁
NGO	Non Governmental Organization	非政府組織
NICDAC	National Integrated Community Development Advisory Committee	国家総合コミュニティ開発諮問委員会
PCM	Project Cycle Management	プロジェクト・サイクル・マネジメント
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PICDAC	Provincial Integrated Community Development Advisory Committee	州総合コミュニティ開発諮問委員会
PNG	Papua New Guinea	パプアニューギニア
PO	Plan of Operation	活動計画
POM	Port Moresby	ポートモレスビー
PRA	Participatory Rural Appraisal	主体的参加型農村調査法

中間レビュー結果要約表

1. 案件の概要	
国名：パプアニューギニア（PNG）	案件名：（和）総合コミュニティ開発プロジェクト （英）Integrated Community Development Project
分野：行政一般	協力形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：公共政策部行政機能課	協力金額（評価時点）：約3億円
協力期間	2009年3月～2012年3月 （R/D署名日2008年12月4日）
	先方関係機関：コミュニティ開発省（DFCD）、首都圏庁（NCDC）、東セピック州政府（ESPA）
	日本側協力機関：
他の関連協力：技術協力プロジェクト「首都圏セトルメント地域における総合コミュニティ開発プロジェクト」（2005～2008年）	
1-1 協力の背景と概要 パプアニューギニア国（以下、「パ」国と記す）では都市部と地方村落部間の経済格差が大きく、これが地方人口の都市部への流入の主要因である。地方からの移住者の多くは首都周辺に約70カ所あるセトルメント地域に居住しているが、政府の計画により開発されたセトルメントは3分の1以下である。セトルメント住民は雇用機会が限られ、不法居住とみなされる地区では教育、保健医療などの公的サービスが受けられないなど、経済的・社会的に隔絶された状況が続いている。また、セトルメント問題の解決の遅れは都市周辺における法秩序問題の要因の一つともなっている。「パ」国では地域間格差、セトルメント問題、法秩序問題が貧困のサイクルを形成し、国全体の経済・社会発展の阻害要因となっている。JICAは技術協力プロジェクト「首都圏セトルメント地域における総合コミュニティ開発」の実施をとおして、セトルメント住民の生活向上を通じた同地域の安定化を目指し、同地域内でのコミュニティ開発を効果的に実施するための行政の仕組み、制度整備、人材育成を支援し、また住民組織や現地NGO等の能力開発に貢献してきた。これらJICAの取り組みを受け、2006年11月、同プロジェクトのカウンターパート（C/P）機関であるコミュニティ開発省（DFCD）を主管とする「総合コミュニティ開発政策（ICD政策）2007-2011」が策定された。これは同プロジェクトによって取り組んできた住民参加型のコミュニティ開発の重要性を前面に打ち出し、各州及び郡に「コミュニティ学習開発センター」（CLDC）を設置し、コミュニティ開発のノウハウ蓄積及び普及の拠点とすることで、行政、市民団体、NGO、教会等の相互の協力によるコミュニティ開発プログラムの策定と実施を促進し、市民の生活の質の改善と人間的成長を促すことを目的としている。今般、同政策の実施促進のためDFCD及び関係機関の組織体制強化、住民参加型コミュニティ開発ノウハウの蓄積と普及等の協力で発展した新規技術協力プロジェクトの要請があった。	
1-2 協力内容 ICD政策の実施促進のためDFCD及び地方自治体等の組織体制強化、住民参加型コミュニティ開発ノウハウの蓄積と普及等の協力を行う。	
（1）上位目標 PNGでICD政策に基づいたコミュニティ開発が促進される。	
（2）プロジェクト目標 ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を推進するために必要な人材、組織、体制が強化される。	

(3) 成果

成果1：ICD政策実施のための組織・仕組みが強化される。

成果2：ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのDFCDの能力が向上する。

成果3：ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのCLDC F/P及びコミュニティ・グループの能力が向上する。

成果4：ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのNCDC、東セピック州政府の能力が向上する。

成果5：持続的コミュニティ開発を実施するためのガイドラインが改善される。

成果6：プロジェクトの支援を受けたCLDC F/Pの経験が、ICD政策のロールアウト・プロセスで活用される。

(4) 投入（中間レビュー時点）

1) 日本側

- ・短期専門家派遣 8名
- ・研修員受入れ 5名
- ・機材供与 約966,000円

2) 「パ」国側

- ・C/P配置 約37名、及び補助スタッフ
- ・事務所スペース
- ・プロジェクト運営費、その他

2. 評価調査団の概要

調査者	総括 武田 長久 JICA国際協力専門員 協力企画 天池 麻由美 JICA公共政策部行政機能課 評価分析 昌谷 泉 株式会社グローバル・グループ21ジャパン	
調査期間	2010年8月28日～2010年9月11日	評価種類：中間レビュー

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) プロジェクト目標

現段階では一部の指標が入手できていないが、現時点でのプロジェクト目標達成度を総合的に検討すると、人材は着実に強化されているものの、東セピック州の活動予算不足にみられる資金面での脆弱性が懸念される。ただし、指標以外の調査結果として、組織としてのキャパシティ開発の進展と、プロジェクト実施体制とICD政策展開体制の改善をみることができ、今後プロジェクト目標の達成度は加速的に向上するものと期待できる。

(2) 成果

プロジェクト活動は全般的に、計画に比べて大幅な遅延なく実施されている。

1) 成果1

CLDC F/Pを通じた事業の実施管理・モニタリングに責任をもつのは3つの「プロジェクト合同実施委員会（JIC）」である。JIC-HQとJIC-POMは毎週1回、ほぼ定期的に会合を開催しているが、JIC-ESについては、会合の開催状況が報告されていない。

2) 成果2

JICが、プロジェクト対象地域におけるCLDCの活動を、CLDC F/Pコーディネーターを通じてモニタリングする制度になっているが、活動の数は記録されていない。

3) 成果3

研修ワークショップは度々開催され、JICメンバー、F/Pコーディネーター他が参加し、その能力を高めた。より広範囲のステークホルダーを動員するのは今後の課題である。

4) 成果4

NCDCとESPAは、CLDC F/Pコーディネーターと共に、プロジェクトの中でワークショップやセミナーを通じて研修（技術的支援）を受けている段階である。NCDCのプロジェクト活動予算は増加傾向にあるが、ESPAによる予算は確保されていない。

5) 成果5

プロジェクト内では、パイロット活動の経験に基づくICD政策実施ガイドライン、及び女性銀行プログラムのガイドラインを制作中であり、このほかにもDFCDがコミュニティ開発にかかわる多数のマニュアルやガイドラインを既に作成している。

6) 成果6

成果5の2種の制作中ガイドラインのほか、2010年3月にニューズレターの第1号が発行された。

3-2 5項目評価結果

(1) 妥当性

プロジェクトの妥当性は極めて高い。

- ・本プロジェクトは、PNG政府が初めて策定したコミュニティ開発国家政策であるICD政策を直接支援するものである。2009年に発表された長期開発計画「PNG Vision 2050」においては“spiritual, cultural and community development”を重点戦略七本柱の一つとしており、同計画前半期の開発計画「PNG Development Strategic Plan 2010-2030」においても、コミュニティ開発は重要視されている。
- ・本プロジェクトの直接的な被益者はコミュニティ開発にかかわる各レベル（中央、州、郡、コミュニティ）のPNGスタッフである。ICD政策の実施のためにはPNGスタッフのキャパシティ強化は必須の条件であり、本プロジェクトに対するニーズは高い。また、プロジェクトの一部として実施されるパイロット活動は、住民ニーズサーベイを実施することにより慎重に設計、計画されており、対象地区コミュニティのニーズに合致したものと見える。
- ・我が国の2009年の対「パ」国援助重点分野は、①持続的経済開発、②社会サービスの向上、③貧困削減、④気候変動対応の4分野である。本プロジェクトの目的であるコミュニティ開発は明示されていないが、このうち社会サービスの向上や貧困削減の分野に貢献すると考えられる。また、コミュニティ開発自体を援助重点分野とする方向での検討もされている。
- ・本プロジェクトに先立ち実施されたJICA技術協力プロジェクト「首都圏セトルメント地域における総合コミュニティ開発」（2005～2008年）は「パ」国側から高い評価を得た。同プロジェクトではコミュニティ開発人材が育成され、コミュニティホール等の施設が建設されており、これらのリソースは本プロジェクトでも十分に活用されている。また、本プロジェクトでは参加型開発手法やエンジニアリング等、日本が得意とする開発手法が駆使されており、日本の優位性を生かした協力であるといえる。

(2) 有効性

プロジェクトの有効性はある程度高いレベルにあると判断される。

- ・人材開発、組織強化は進展しており、また、質問票調査、インタビュー調査の対象となった「パ」国側C/Pスタッフ、日本側専門家の多くは、引き続きコミュニティ開発人材がプロジェクト活動を通じて新しい知識・技術を身に付けていけば、期待どおりにプロジ

ェクト目標達成は可能との見通しをもっている。

- ・有効性向上に特に貢献した要因としては①PNG側C/Pスタッフと日本側専門家との関係が非常に良好であること、②プロジェクト・サイクル・マネジメント（PCM）ワークショップをはじめとする各種セミナー、研修ワークショップの実施がC/Pスタッフ及び他のコミュニティ開発関係者の能力向上を導いている、③JICの再編成により、3つのJICの役割と責任がより明確になったことなどが挙げられる。
- ・「パ」国側プロジェクト関係者内部にみられるコミュニケーション不足は、有効性の阻害要因になりかねない。

（3）効率性

投入と成果のバランスから判断すると、プロジェクトの効率性は良好である。

- ・日本側専門家は短期滞在ベースで「パ」国への訪問を繰り返す「シャトル型派遣」であり、専門家不在期間中はC/Pスタッフが専門家に課せられた「宿題」をこなす、というスタイルをとっている。このスタイルは、長期派遣専門家が常駐して技術移転を行う従来形式に比べ、概してC/Pスタッフの責任感を増し、ひいてはオーナーシップの向上につながるという意味で効率的であると思われる。専門家の能力、経験、技術移転方法に関しては、C/Pスタッフのほとんどが高い満足度を示している。
- ・C/Pスタッフの能力と配置については、プロジェクト活動実施上、ほぼ適切であるといえる。東セピック州のスタッフ数は当初不足していたが、実働スタッフを「事務局」として加えることによりプロジェクト活動を円滑に進めている。
- ・本邦研修に参加したC/Pスタッフの満足度は高く、研修で得た成果はすでに各JICでの計画作成やNGOフォーラムの開催などに活用されている。他方、日本側の予算制約により、2010年度は本邦研修は実施されず、第三国（フィリピン）での研修のみとなった。
- ・プロジェクトは依然、すべての成果が目に見える形で十分に出ているという段階にはないが、プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）に記載された各プロジェクト活動の多くは大きな遅滞なく実施されている。

（4）インパクト

上位目標については、現段階では指標からの達成見込みを判断するのは困難であるが、C/Pスタッフの多くは、プロジェクトの対象地域で実施されたコミュニティ開発活動がICD政策の下で全国的に拡がっていくことを確信している。その他に、以下のプラスのインパクトがあった。

- ・プロジェクト下でPCM研修を受けたESPAのC/Pスタッフが、コミュニティ開発以外の自身の担当分野のプロジェクトにおいてもその手法を適用し活動計画（PO）を策定するに至った。
- ・前プロジェクトにおいて、パイロット活動として実施された大工、ケータリングの技能研修を受けたポートモレスビーのセトルメント住民のうち、数名が外部で職を得ることができた。本プロジェクトでも前プロジェクトの継続支援を実施しており、また、新たなパイロット活動も実施されることから、同様な効果を今回も期待できる。

（5）自立発展性

自立発展性は、全体的には確保されると期待できるが、懸念材料もある。

1) 政策面

ICD政策は「パ」国政府の重要政策の一つである。プロジェクト終了後に同政策方針が転換され、コミュニティ開発の諸活動が縮小されるとは考えられない。

2) 制度・組織面

持続的なコミュニティ開発を推進するための制度・組織強化は、本プロジェクトが直接目指すところである。プロジェクト目標を達成できれば、コミュニティ開発活動を促進、持続させるメカニズムが構築されることになる。

3) 技術面

コミュニティ開発人材の強化については、研修を受けたC/Pスタッフは着実にその能力を向上させており、ICD政策に基づくコミュニティ開発を実施していくための技術面での持続性確保に寄与している。特に前プロジェクトに参加しているNCDCスタッフは、特に自らの能力向上を強く認識している。プロジェクト終了後に、プロジェクトで強化された人材の知識・技能を他のコミュニティ開発関係者に伝播、普及させていく体制の構築は持続性確保のための必須条件であるが、その体制構築こそがプロジェクトの目的である。

4) 財政面

DFCD及びNCDCの本プロジェクトに対する予算は、十分ではないとはいえ増加している。一方、ESPAにおいては本プロジェクトへの予算が全く確保されていない状態である。これらプロジェクト予算の傾向、ICD政策の重要性、「パ」国の近年の経済情勢等を総合的に判断すると、プロジェクト終了後に、プロジェクトでの実施活動をはじめとするコミュニティ開発政策の実行予算が急激に削減されることは考えにくい。ただし、東セピック州でのプロジェクト活動資金の状況は、持続発展性確保を脅かす不安要素となっている。

3-3 効果発現に貢献した要因

- ・2010年5月にJIC-POMをDFCDのJIC-HQとNCDCのJIC-POMに分割し、東セピック州のJIC-ESの3つの組織体制に変更し、プロジェクトにおけるそれぞれの役割と機能、責任が明確になった。
- ・PCMワークショップを始めとする各種セミナー、研修ワークショップの実施がC/Pスタッフ及び他のコミュニティ開発関係者の能力向上を導いている。
- ・「パ」国側C/Pスタッフと日本側専門家との関係が非常に良好である。
- ・「パ」国側C/Pスタッフのプロジェクト活動への意識と意欲は向上しつつある。
- ・パイロット活動サイトのパティコ村住民は、プロジェクトに極めて積極的に参加する態度を示している。CLDC F/Pコーディネーターの努力が寄与するところが多い。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

- ・東セピック州における活動の資金が不足している。
- ・JIC-HQとJIC-ESの間に、コミュニケーション不足や誤解が生じている。現在のところプロジェクト全体に大きな影響を及ぼしてはいないものの、改善しなければ今後の円滑なプロジェクト活動の阻害要因になり得る。

3-5 結論

- ・プロジェクト活動の多くは大きな遅滞なく実施されている。
- ・成果及びプロジェクト目標の達成状況については、プロジェクト活動実施及びICD政策展開のための体制強化と人材開発は進んでおり、今後のプロジェクト目標達成度は加速度的に向上するものと総合的に判断される。
- ・プロジェクトの実施プロセスについては、「パ」国側C/P内部での連絡不足等による問題が生じているものの、全体的にはおおむね適切、円滑に推移している。
- ・評価5項目の観点からは、プロジェクトの「妥当性」は極めて高く、特に「パ」国側の政

策に完全に整合し、被益者のニーズにも十分に合致している。

- ・「有効性」、「効率性」に関しては良好なパフォーマンスを示している。
- ・これまでにプロジェクト実施によるプラスの「インパクト」は観察されているが、マイナス影響は特に出していない。
- ・「自立発展性」については、プロジェクト終了後もプロジェクトの活動や効果が継続、拡大されていく見込みは高いが、財務面に多少の不安があることは否めない。

3-6 提言

- ・DFCDによるICD展開戦略の策定と展開プロセスにかかわる組織的な調整部署の設置。
- ・JIC-HQとLearning and Environment Branch (ICD政策展開戦略の担当部局)との連携・調整の強化、その部局の主要な責任者のJIC-HQへの任命。
- ・JIC-POMの役割の増加と責任分担の明確化に伴うNCDCの組織体制、調整機能の強化。
- ・東セピック州でのICD政策の啓発ワークショップの確実な開催 (2010年10月予定)
- ・東セピック州パティコ村のCLDC F/Pの施設整備の速やかな実施。
- ・CLDC F/Pにおけるコミュニティ開発にかかわるリソース (プログラムや組織、技術人材など)にかかわる情報の蓄積と提供の促進。そのためのDFCD、NCDC、東セピック州からの情報提供の促進。
- ・CLDC F/Pが機能するための交通費等の活動予算のNCDC、東セピック州による予算の配分と毎年度の継続的な予算の獲得。
- ・以上の改善策やプロジェクト実施状況の現状に即してPDMを改訂し、JCCで承認を得る。
- ・改訂されたPDMの活動、成果、プロジェクト目標と指標に即した進捗状況の報告書作成。

第1章 中間レビュー調査の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

パプアニューギニア国（以下、「パ」国と記す）では、地方から都市部への人々の移住により形成されたセトルメントでの経済・社会的な問題が深刻化し、JICAはコミュニティ開発省（DFCD）と首都圏庁（NCDC）をC/Pとする「首都圏セトルメント地域における総合コミュニティ開発プロジェクト」を2005年4月から2008年3月に実施した。同プロジェクトでは、セトルメント地域内でのコミュニティ開発を効果的に実施するための制度整備、行政人材の育成、住民組織や現地NGO等の能力向上に関する支援を実施した。

2006年、DFCDは上記プロジェクトでの取り組みも踏まえて、総合コミュニティ開発政策（ICD政策）2007-2011を策定し、住民参加型のコミュニティ開発の重要性を前面に打ち出すとともに、各州及び郡にコミュニティ開発学習センター（CLDC）フォーカルポイント（F/P：各郡に設置される総合行政サービス拠点）を設置してコミュニティ開発のノウハウ蓄積及び普及の拠点とすることを目指すこととした。

「パ」国政府は我が国に対し、ICD政策実施促進のための組織体制強化や、住民参加型コミュニティ開発ノウハウの蓄積と普及を行うための技術協力プロジェクトを要請した。これを受け、JICAはDFCDをC/P機関とする「総合コミュニティ開発プロジェクト」を、2009年3月から3年間の予定で実施している。

本プロジェクトでは、ICD政策に基づいた、持続的コミュニティ開発を推進するために必要な人材、組織、体制の強化をプロジェクト目標としている。具体的には、ポートモレスビー首都圏及び東セピック州をパイロットサイトとし、ICD政策実施にかかわる関係機関（DFCD、NCDC、東セピック州政府（ESPA）のコミュニティ開発担当部局）の能力向上、CLDC F/P及びコミュニティの能力向上、持続的コミュニティ開発の推進のためのガイドライン改訂などを行っている。

中間レビュー調査は、本プロジェクトの目標達成度や成果などを分析するとともに、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認し、必要に応じてプロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）及び活動計画（PO）を修正した上で、中間レビュー報告書に取りまとめ、先方と合意することを目的として派遣された。

1-2 調査団の構成と調査期間

(1) 調査団の構成

氏名	分野	所属
武田 長久	総括	JICA国際協力専門員
天池 麻由美	協力企画	JICA公共政策部行政機能課
昌谷 泉	評価分析	(株) グローバル・グループ21ジャパン

(2) 調査期間

平成22年8月28日（土）～9月11日（土）（詳細は付属資料1のとおり）

1-3 対象プロジェクトの概要

(1) 上位目標

PNGでICD政策に基づいたコミュニティ開発が促進される。

(2) プロジェクト目標

ICD政策に基づいた、持続的コミュニティ開発を促進するために必要な人材、組織、体制が強化される。

(3) 成果

1. ICD政策実施のための組織・仕組みが強化される。
2. ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのDFCDの能力が向上する。
3. ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのCLDC F/P及びコミュニティ・グループの能力が向上する。
4. ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのNCDC、東セピック州政府の能力が向上する。
5. 持続的コミュニティ開発を実施するためのガイドラインが改善される。
6. プロジェクトの支援を受けたCLDC F/Pの経験が、ICD政策のロールアウト・プロセスで活用される。

(4) 活動

- 1-1 合同実施委員会（JIC）が、アドバイザリー委員会、実施委員会などの既存のコミュニティ開発の実施やモニタリング体制をレビューする。
- 1-2 JICが、プロジェクト活動実施におけるDFCD、NCDC及び東セピック州政府の役割を明確化する。
- 1-3 DFCD、NCDC及びESPAが、プロジェクトの実施・モニタリングのための新たな仕組みの必要性について検討する。
- 1-4 JICが、他省庁、政治的リーダー、NGO、市民社会組織、及び民間企業とのパートナーシップ構築に向けて取り組む。
- 1-5 JICが、報告体制を含むCLDC F/Pの活動をモニタリング・評価するための計画を策定する。

- 2-1 DFCDが、ICD政策実施の観点から組織のSWOT分析を行う。
- 2-2 研修ニーズ分析結果に基づき、DFCDが必要な研修（モニタリング評価、プロジェクト・サイクル・マネジメント〔PCM〕、対立解決、コミュニティの動員、主体的参加型農村調査法〔PRA〕）を実施する。
- 2-3 DFCDが、CLDC F/Pコーディネーター及び郡マネジメント委員会メンバー向けの研修マニュアルを作成する。
- 2-4 JICが策定した戦略に基づき、DFCDがパイロット活動の実施プロセスをモニタリング評価する。

- 3-1 DFCD、NCDC、ESPA及びCLDC F/Pが、州・郡・コミュニティレベルでのCLDCコンセプトの理解促進のための活動を行う。
 - 3-2 DFCDと協議のうえ、CLDC F/Pコーディネーターがコミュニティ・グループに対して提供できるサービスのリストを作成する。
 - 3-3 CLDC F/Pコーディネーターが、コミュニティリソースリストを含む、CLDC F/Pの活動を支援してくれる可能性のあるパートナーのリストを作成する。
 - 3-4 合意された基準に基づき、JICがパイロット活動を選定する。
 - 3-5 CLDC F/Pコーディネーターが、JICによって選定されたパイロット活動地域のベースライン調査を実施する。
 - 3-6 CLDC F/Pコーディネーターが、JICの協力を得てCLDC及びCLDC F/Pに対するコミュニティのニーズを分析する。
 - 3-7 CLDC F/Pコーディネーター及びコミュニティ・グループが、JICの協力を得てパイロット活動計画を策定する。
 - 3-8 CLDC F/Pコーディネーター及びコミュニティ・グループが、JICの協力を得てパイロット活動を実施する。
 - 3-9 CLDC F/Pコーディネーター及びコミュニティ・グループが、JICが策定した戦略に基づいてパイロット活動のモニタリング・評価を行う。
-
- 4-1 NCDCとESPAが、外部支援に関するCLDC F/Pのニーズを分析する。
 - 4-2 NCDCとESPAが、CLDC F/Pに必要な技術的な支援を提供する。
 - 4-3 NCDCとESPAが、パイロット活動実施に必要なリソースを動員する。
 - 4-4 研修ニーズ分析結果に基づき、JICがNCDC及び東セピック州職員に対し必要な研修（モニタリング評価、PCM、対立解決、コミュニティの動員、PRA）を実施する。
 - 4-5 JICが策定した戦略に基づき、NCDCとESPAがパイロット活動の実施プロセスをモニタリング評価し、教訓を明らかにする。
-
- 5-1 JICが既存のガイドラインやマニュアルをレビューし、プロジェクト活動地域でのCLDC F/P支援結果を評価する。
 - 5-2 JICがCLDC F/P活動状況、記録、グッドプラクティスを調査する。
 - 5-3 JICがプロジェクト活動地域においてCLDC F/P支援の実施プロセスから得られた教訓を明らかにする。
 - 5-4 JICがプロジェクト実施プロセスの中でガイドラインを使用し、必要に応じて改訂する。
 - 5-5 JICが州／郡レベルの関係者からのフィードバックを得るためのワークショップを開催し、ガイドラインやマニュアルを最終化する。
-
- 6-1 JICがCLDC F/P業務のための案内パンフレットを作成する。
 - 6-2 JICが、プロジェクトが支援したCLDC F/Pの成果普及のためのワークショップを開催する。

第2章 レビュー調査の方法

2-1 調査の手順

文献調査に加え、「パ」国側C/P、日本側専門家、プロジェクト関係者に対して質問票調査及びインタビュー調査を実施して必要データ・情報を収集した。また、プロジェクトサイトを訪問、視察した。さらに「パ」国側と協議を重ねたうえで、調査の結果を分析し、中間レビュー調査報告書としてまとめた。使用した質問票は付属資料5として添付した。

2-2 調査項目

調査を実施した項目は、(1)実績、(2)実施プロセス、(3)評価5項目に基づくレビュー項目に分類される。調査項目の詳細は付属資料3. M/MのAnnex-3 Evaluation Gridに示された評価グリッドのとおりである。

(1) 実績

中間レビュー時点におけるプロジェクトの実績は、PDMに記載された投入と活動実施の状況、及び成果、プロジェクト目標、上位目標の達成指標によって計測した。

(2) 実施プロセス

プロジェクトの実施プロセスは、プロジェクトが適切に管理されているかを検証し、プロジェクト実施の促進要因と阻害要因を抽出するため、技術移転の状況、関係者間のコミュニケーション、モニタリング状況など、さまざまな観点から分析した。

(3) 評価5項目によるレビュー

開発プロジェクトを評価する際に国際的に使用される評価5項目¹の観点から、収集したデータを分析し、総合的に判断した。評価5項目の内容は以下のとおりである。

1) 妥当性 (relevance)

プロジェクトの目標は、受益者のニーズと合致しているか、問題や課題の解決策としてプロジェクトのアプローチは適切か、相手国の政策や日本の援助政策との整合性はあるかなど、正当性や必要性を確認する。

2) 有効性 (effectiveness)

プロジェクトの実施によって、プロジェクトの目標が達成され、受益者や対象社会に便益がもたらされているかなどを確認する。

3) 効率性 (efficiency)

プロジェクトの投入と成果の関係に着目し、投入した資源が効果的に活用されているかなどを確認する。

4) インパクト (impact)

プロジェクトの実施によってもたらされる、長期的な効果、波及効果、上位目標の達成度合いなどを確認する。

5) 自立発展性 (sustainability)

プロジェクトで発現した効果が、協力終了後においても持続し発展しているかを確認する。

¹ OECD-DAC のガイドラインによる。

第3章 プロジェクトの実績と現状

3-1 投入実績

2009年3月のプロジェクト開始以降の1年半の間における、日本側及び「パ」国側からの投入の概況は以下のとおりである。投入の詳細はM/MのAnnex-1に示されている。

(1) 日本側

1) 専門家の派遣

2010年8月末までに8名の専門家が派遣された。派遣期間の合計は、2009年度（日本の会計年度）には23.0人月であった。2010年度には23.1人月の派遣期間が予定されている。専門家の一覧と派遣期間はM/MのAnnex-1参照。

2) 本邦研修

2009年10月24日から11月15日までの期間、C/Pスタッフ5名が、日本におけるC/P研修に参加した。参加者の一覧はM/MのAnnex-1参照。

3) 機材供与

2010年8月末までに、約96万6千円に相当する機材がプロジェクトに供与されている。機材の一覧はM/MのAnnex-1参照。

(2) 「パ」国側

1) C/Pスタッフの配置

計37名のスタッフが、プロジェクトのC/Pとして公式に配置されている。C/Pスタッフの一覧はM/MのAnnex-1参照。

2) 事務所スペースの提供

DFCD、NCDC及びESPA内にプロジェクトの事務所スペースが確保されている。

3) プロジェクト運営費用

C/Pスタッフの交通費、パイロット活動運営費等が提供されている。

4) その他

その他にプロジェクト実施に必要な施設が提供されている。

3-2 活動実績

プロジェクト活動は全般的に、計画に比べて大幅な遅延なく実施されている。PDMに記載された活動項目ごとの実施状況はM/MのAnnex-2参照。

3-3 成果の達成状況

PDMに記載された成果達成指標の現況は、以下に記したとおりである。

成果1：ICD政策実施のための組織・仕組みが強化される。

指標
1. 国、州、郡、CLDCのそれぞれのレベルにおいて、CLDC F/Pを通じた事業の実施管理・モニタリングのための各種委員会が定期的開催される。

(指標 1)

CLDC F/Pを通じた事業の実施管理・モニタリングに責任をもつのは3つのJICである²。JIC-HQとJIC-POMは毎週1回、ほぼ定期的に会合を開催している。JIC-ESについては、会合の開催状況が報告されていない。少なくとも2009年7月、8月の2カ月間は開催がなかった³。

成果2：ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのDFCDの能力が向上する。

指標
2. DFCD担当官によるモニタリングに基づいたCLDC活動の数が増加する。

(指標 2)

JICが、プロジェクト対象地域におけるCLDCの活動を、CLDC F/Pコーディネーターを通じてモニタリングする制度になっているが、活動の数は記録されていない。「首都圏セトルメント地域における総合コミュニティ開発プロジェクト」におけるPOMパイロット地区のCLDCでは活動は継続され、DFCDはCLDC F/Pを通じてそれらを把握している。

成果3：ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのCLDC F/P及びコミュニティ・グループの能力が向上する。

指標
3.1 プロジェクトで開発されたトレーニング・マニュアルを使いDFCDが実施したトレーニングに参加したF/Pコーディネーター、コミュニティ開発官の数。
3.2 プロジェクト実施地域において、CLDC F/Pによるサポートを受けたCLDCの平均数が増加する。
3.3 CLDC F/Pが、その活動のサポートをしてくれる、より広い範囲のステークホルダーを動員する。

(指標3.1)

二人のCLDC F/Pコーディネーター、及び他の多くのコミュニティ開発官がプロジェクトで実施された研修ワークショップに参加した。表3-1はこれまでに開催されたPCMワークショップの一覧である。

² JICは2010年5月に再編成された。「3-6 実施プロセス」の項参照。

³ JIC-ESは今回の中間レビュー調査期間中の2010年9月7日に開催され、調査団もオブザーバーとして出席した。

表 3 - 1 PCMワークショップ

Date	Participants	Theme	Facilitator
3rd April, '09	JIC-POM members	Introduction to PCM	M. Kawabata (JCT)
16 th June, '09	JIC-POM members	stakeholder analysis, problem analysis	do
19th June, '09	JIC-ES members	Introduction to PCM	do
26th June, '09	JIC-POM members	Objective analysis, project selection, project design matrix (PDM)	do
3rd July, '09	JIC-POM members	PDM, overview	do
16th, 17th November '09	DFCD liaison officers, JOCV	stakeholder analysis, problem analysis	T. Otake (JCT)
4th, 5th February '10	CLDC focal point coordinators	stakeholder analysis, problem analysis	do
11th, 12th, 16th February '10	DFCD managers	stakeholder analysis, problem analysis, overview, follow-up	do

プロジェクト・サイクル・マネジメント (Project Cycle Management : PCM) ワークショップのほかにも、アカウンティング・ワークショップ、女性銀行ワークショップ、州開発計画セミナーなどが実施されている。

(指標3.2)

ポートモレスビーにおいては、VadavadaとGorobeの2カ所のCLDCが、ポートモレスビー南部CLDC F/Pコーディネーターのサポートを受けている。東セピック州Wosera Gawi郡においては、少なくともCLDC F/Pと同じ施設内のCLDCが、F/Pコーディネーターのサポート範囲にある。

(指標3.3)

現時点においては、他のステークホルダーは必ずしもプロジェクト活動に関与してはいない。プロジェクトでは今後、ICD政策の枠組みの中で、教会やNGO等の他のステークホルダーがコミュニティ開発に協力して関与するような体制作りを計画している。

成果 4 : ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのNCDC、東セピック州政府の能力が向上する。

指標
4.1 CLDC F/Pを通じたコミュニティ開発活動のための州と郡の予算が増加する。
4.2 NCDC及びESPAによるCLDC F/Pへの技術的支援の回数が増加する。

(指標4.1)

プロジェクト目標の指標 3 (本文 8 ページ) を参照。

(指標4.2)

NCDC (JIC-POM) とESPA (JIC-ES) は、CLDC F/Pコーディネーターと共に、プロジェクトの中でワークショップやセミナーを通じて研修 (技術的支援) を受けている。現段階では、NCDCとESPAはCLDC F/Pに対して技術的支援を行っていない。

成果5：持続的コミュニティ開発を実施するためのガイドラインが改善される。

指標
5. CLDC F/P展開の過程で、DFCDの承認するガイドラインの数。

(指標5)

プロジェクト内では、パイロット活動の経験に基づくICD政策実施ガイドライン、及び女性銀行プログラムのガイドラインを制作中である。このほか、DFCDでは、コミュニティ開発にかかわる多数のマニュアルやガイドラインを既に作成している。

成果6：プロジェクトの支援を受けたCLDC F/Pの経験が、ICD政策のロールアウト・プロセスで活用される。

指標
6. プロジェクトで作成されたガイドライン、パンフレット、ツール・キットなどが、DFCDによる他州へのCLDC F/P展開過程で使用される。

(指標6)

指標5で述べた2種の制作中のガイドラインのほか、2010年3月にニューズレターの第1号が発行された。第2号を準備中である。

3-4 プロジェクト目標の達成状況

PDMに記載された指標の現況に基づく、プロジェクト目標のレビュー時点での達成度及びプロジェクト終了時の達成見込みは、以下に記したとおりである。

プロジェクト目標：ICD政策に基づいた、持続的コミュニティ開発を推進するために必要な人材、組織、体制が強化される。

指標
1. 国、州、郡それぞれのレベルにおいて、プロジェクトに携わる主要な人材が、ICD政策への理解と関与を深めていることを実際に示す。
2. プロジェクト対象地域において、ICD実施政策のためにCLDC F/Pを通じて動員されるリソースが増加する。
3. DFCD、NDCC、州政府及び郡政府のCLDC F/Pに対する予算が2009年から2011年にかけて毎年確保され、実行される。

(指標1)

専門家の観察によると、C/Pスタッフの大半はICD政策及びプロジェクトの重要性について理解を深めている。それは、内外のさまざまな会議やプレゼンテーションの場においての積極的な発言、行動から顕著に観察できる。

(指標2)

現在、パイロット活動の実施開始前であるため、リソースについての情報は少ないが、東セピ

ック州のパイロット活動（パティコ村の水供給）に対しESPAが予算を支出していないことは課題である（指標3の記述参照）。一方で、パティコ村住民は計画段階から活動にかかわっており、水供給施設の土木工事等にも主体的に参加することになっている。

（指標3）

DFCDのプロジェクト予算は2009年が40万キナ、2010年が50万キナ（支出ベース、人件費は含まず）と増額されている。NCDCの同地域プロジェクト予算は、2008年⁴、2009年が各5万キナ、2010年が25万キナと、パイロット活動実施に向け大幅に増額されている。他方、東セピック州におけるプロジェクト活動の費用はすべてDFCDから支給されており、ESPA独自予算はない。東セピック州での活動に使用できる予算は不足しており、一例として、CLDC F/Pは活動旅費を支給されず、経費を個人負担しているのが現状である。なお、本プロジェクト活動に対するDFCDの2010年度予算は増額されたものの、ICD政策実施そのものに対する予算は確保されていない。

このように現段階では一部の指標もしくはその代替となる指標が入手できていないが、総合して現時点でのプロジェクト目標達成度を検討すると、人材の能力は着実に強化されているものの、東セピック州の活動予算不足にみられる資金面での脆弱性が懸念される。ただし、指標以外の調査結果として、組織としてのキャパシティ開発の進展と、プロジェクト実施体制とICD政策展開体制の改善を見ることができ、今後はプロジェクト目標達成に向け、その達成度は加速度的に向上するものと判断される。

3-5 上位目標の達成見込み

PDMに記載された上位目標の達成指標の現況は、以下に記したとおりである。

上位目標：PNGでICD政策に基づいたコミュニティ開発が促進される。

指標
1. CLDC F/PによってサポートされているCLDCの数が増加する。
2. CLDC F/Pがプロジェクト対象地域以外の州や郡で設立される。

（指標1、指標2）

現在、全国で13のCLDC F/Pが存在する。うち、少なくとも東セピック州Wosera Gawi 郡とポートモレスビー南部の2カ所のCLDC F/Pは機能している。CLDCの定義が曖昧なため、CLDC F/PによってサポートされているCLDCの数の増減を計測するのは困難であるが、Wosera Gawi 郡では少なくとも1カ所、ポートモレスビー南部では少なくとも2カ所のCLDCがサポートされている（成果達成指標3.2の記述参照）。なお、他の11カ所のF/Pの現況については、DFCDが正確な情報を把握していない。

3-6 実施プロセス

プロジェクトの実施プロセスはこれまでのところ、おおむね適切である。主要な調査結果を以下に挙げる。

⁴ 「首都圏セトルメント地域における総合コミュニティ開発プロジェクト」の予算。

- (1) 本プロジェクトでは、日本側専門家は比較的短期の「パ」国滞在を繰り返す「シャトル型派遣」の形態をとっているが、これまでのところ専門家チームと「パ」国側C/Pとの関係コミュニケーションはたいへん良好である。
- (2) プロジェクトの進捗報告書は計画どおり定期的に提出されている。
- (3) 合同調整委員会（JCC）はこれまでに2009年4月23日、2009年7月8日、2010年6月10日の3回開催されている⁵。R/Dで規定された年1回よりも高い頻度で開催され、議論も活発に行われている。
- (4) 「パ」国側C/Pスタッフのプロジェクト活動への意識と意欲は向上しつつあり、オーナーシップの強化に貢献している。
- (5) パイロット活動サイトのパティコ村住民は、プロジェクトに極めて積極的に参加する態度を示している。F/Pコーディネーターの努力が寄与するところが大きい。
- (6) JICは、当初JIC-POMとJIC-ESの二者体制であったが、2010年5月からJIC-POMはJIC-HQとJIC-POMに分けられ、三者体制へと変更された。この再編成により各JICの役割と機能は明確になった。
- (7) JIC-HQとJIC-ESの間に、連絡不足や誤解が生じている。現在のところプロジェクト全体に大きな影響を及ぼしてはいないものの、改善しなければ今後の円滑なプロジェクト活動の阻害要因になり得る。

⁵ 第4回JCCは今回の中間レビュー調査期間中の2010年9月9日に開催され、レビュー調査団も出席した。

第4章 評価5項目によるレビュー結果

評価5項目に基づいてレビューした結果を項目ごとに記す。

4-1 妥当性

プロジェクトの妥当性は極めて高い。

(1) 「パ」国の政策との整合性

本プロジェクトは、「パ」国政府が初めて策定したコミュニティ開発国家政策であるICD政策を直接支援するものである。2009年に発表された長期開発計画「PNG Vision 2050」においては“spiritual, cultural and community development”を重点戦略七本柱の一つとしており、同計画前半期の開発計画「PNG Development Strategic Plan 2010-2030」においても、コミュニティ開発は重要視されている。

(2) 被益者ニーズとの整合性

本プロジェクトの直接的な被益者はコミュニティ開発にかかわる各レベル（中央、州、郡、コミュニティ）の「パ」国スタッフである。ICD政策の実施のためには「パ」国スタッフのキャパシティ強化は必須の条件であり、本プロジェクトに対するニーズは高い。また、プロジェクトの一部として実施されるパイロット活動は、住民ニーズサーベイを実施することにより慎重に設計、計画されており、対象地区コミュニティのニーズに合致したものと見える。

(3) 日本政府のODA政策との整合性

我が国の2009年の対「パ」国援助重点分野は、①持続的経済開発、②社会サービスの向上、③貧困削減、④気候変動対応の4分野である。本プロジェクトの目的であるコミュニティ開発は明示されていないが、このうち社会サービスの向上や貧困削減の分野に貢献すると考えられる。また、コミュニティ開発自体を援助重点分野とする方向での検討もされている。

(4) 日本による協力の優位性

本プロジェクトに先立ち実施されたJICA技術協力プロジェクト「首都圏セトルメント地域における総合コミュニティ開発」（2005～2008年。以下、「前プロジェクト」と記す）は「パ」国側から高い評価を得た。前プロジェクトではコミュニティ開発人材が育成され、コミュニティホール等の施設が建設されており、これらのリソースは本プロジェクトでも十分に活用されている。また、本プロジェクトでは参加型開発手法やエンジニアリング等、日本が得意とする開発手法が駆使されており、日本の優位性を生かした協力であるといえる。

4-2 有効性

プロジェクトの有効性はある程度高いレベルにあると判断される。

第3章に記したように、現時点では目標達成指標データを十分に入手することができず、プロジェクト終了時の目標達成の見込みを推定することは難しい。しかしながら、プロジェクト活動により人材開発、組織の強化は進展しており、また、質問票調査、インタビュー調査の対象となった「パ」国側C/P、日本側専門家の多くは、引き続きコミュニティ開発人材がプロジェクト活動を

通じて新しい知識・技術を身に付けていけば、期待どおりにプロジェクト目標達成は可能との見通しをもっている。

有効性向上に特に貢献した要因としては、①「パ」国側C/Pスタッフと日本側専門家との関係が非常に良好であること、②プロジェクト・サイクル・マネジメント（PCM）ワークショップをはじめとする各種セミナー、研修ワークショップの実施がC/Pスタッフ及び他のコミュニティ開発関係者の能力向上を導いている、③JICの再編成により、3つのJICの役割と責任がより明確になったことなどが挙げられる。一方、「パ」国側プロジェクト関係者内部にみられるコミュニケーション不足は、有効性の阻害要因になりかねない。

4-3 効率性

これまでの投入と成果のバランスから判断すると、プロジェクトの効率性は良好である。

(1) 投入の適切性

日本側専門家はこれまでに8名が派遣されている。いずれも短期滞在ベースで「パ」国への訪問を繰り返す「シャトル型派遣」であり、専門家不在期間中はC/Pスタッフが専門家に課せられた「宿題」をこなす、というスタイルをとっている。このスタイルは、長期派遣専門家が常駐して技術移転を行う従来形式に比べ、概してC/Pスタッフの責任感を増し、ひいてはオーナーシップの向上につながるという意味で効率的であると思われる⁶。専門家の能力、経験、技術移転方法に関しては、C/Pスタッフのほとんどが高い満足度を示している。

「パ」国側C/Pスタッフの能力と配置については、プロジェクト活動実施上、ほぼ適切であるといえる。東セピック州のJIC-ESのメンバーはいずれも州政府要職にあり、プロジェクト活動に時間を割くことはできないために、スタッフ数は当初不足していたが、実働スタッフを「事務局」として加えることによりプロジェクト活動を円滑に進めている。

2009年には5名のスタッフが日本でのC/P研修（総合コミュニティ開発コース）に参加した。全員が研修プログラムにほぼ満足しており、研修で得た成果はすでに各JICでの計画作成やNGOフォーラムの開催などに活用されている。本プロジェクト開始当初の計画では2010年度、日本での研修と第三国研修が計画されていたが、日本側の予算制約により、フィリピンでの研修を2010年9月に実施するのみとなった。

本プロジェクトでは日本側の提供機材はオフィス機器等に限定されるが、ほとんどが適切に使用されている。ただし、3台あるPCのうち東セピック州での活動用に配置された1台は、プロジェクト事務所の整備が不十分なため、現在のところ利用されていない。

(2) 成果の達成度

第3章に見るとおり、プロジェクトは依然、すべての成果が目に見える形で十分に出ているという段階にはないが、PDMに記載された各プロジェクト活動の多くは大きな遅滞なく実施されている。

⁶ ただし、一方で、JIC-HQとJIC-POMのメンバーの中には、プロジェクト以外の本来の職務が多忙であるため専門家不在期間はプロジェクト活動が不活発になる、とインタビューで指摘したスタッフもいた。

4-4 インパクト

上位目標については、現段階では指標からの達成見込みを判断するのは困難であるが、C/Pスタッフの多く、特にJIC-POMのメンバーは、プロジェクトの対象地域で実施されたコミュニティ開発活動がICD政策の下で全国的に広がっていくことを確信している。

本プロジェクトでは、これまでに次の2点の正のインパクトが観察されている。負のインパクトはこれまで観察されておらず、今後発生することも予想されていない。

- (1) プロジェクト下でPCM研修を受けたESPAのC/Pスタッフが、コミュニティ開発以外の自身の担当分野のプロジェクトにおいてもその手法を適用し活動計画（PO）を策定するに至った。
- (2) 前プロジェクトにおいて、パイロット活動として実施された大工、ケータリングの技能研修を受けたポートモレスビーのセトルメント住民のうち、数名が外部で職を得ることができた。本プロジェクトでも前プロジェクトの継続支援を実施しており、また、新たなパイロット活動も実施されることから、同様な効果を今回も期待できる。

4-5 自立発展性

自立発展性は、全体的には確保されると期待できるが、懸念材料もある。

(1) 政策面

ICD政策は「パ」国政府の重要政策の一つである。プロジェクト終了後に同政策方針が転換され、コミュニティ開発の諸活動が縮小されるとは考えられない。

(2) 制度・組織面

持続的なコミュニティ開発を推進するための制度・組織強化は、本プロジェクトが直接目指すところである。プロジェクト目標を達成できれば、コミュニティ開発活動を促進、持続させるメカニズムが構築されることになる。

(3) 技術面

コミュニティ開発人材の強化については、研修を受けたC/Pスタッフは着実にその能力を向上させており、ICD政策に基づくコミュニティ開発を実施していくための技術面での持続性確保に寄与している。特に前プロジェクトに参加しているNCDCスタッフは、特に自らの能力向上を強く認識している。プロジェクト終了後に、プロジェクトで強化された人材の知識・技能を他のコミュニティ開発関係者に伝播、普及させていく体制の構築は持続性確保のための必須条件であるが、前項同様、その体制構築こそがプロジェクトの目的である。

(4) 財務面

第3章で述べたように、DFCD及びNCDCの本プロジェクトに対する予算は、十分ではないとはいえ増加している。一方、ESPAにおいては本プロジェクトへの予算が全く確保されていない状態である。これらプロジェクト予算の傾向、ICD政策の重要性、「パ」国の近年の経済情勢等を総合的に判断すると、プロジェクト終了後に、プロジェクトでの実施活動をはじめと

するコミュニティ開発政策の実行予算が急激に削減されることは考えにくい。ただし、東セピック州でのプロジェクト活動資金の状況は、持続発展性確保を脅かす不安要素となっている。

4-6 結論

プロジェクト活動の多くは大きな遅滞なく実施されている。成果及びプロジェクト目標の達成状況については、プロジェクト活動実施及びICD政策展開のための体制強化と人材開発は進んでおり、今後のプロジェクト目標達成度は加速度的に向上するものと総合的に判断される。プロジェクトの実施プロセスについては、「パ」国側C/P内部での連絡不足等による問題が生じているものの、全体的にはおおむね適切、円滑に推移している。

評価5項目の観点からは、プロジェクトの「妥当性」は極めて高く、特に「パ」国側の政策に完全に整合し、被益者のニーズにも十分に合致している。また「有効性」、「効率性」に関しては良好なパフォーマンスを示している。これまでにプロジェクト実施によるプラスの「インパクト」は観察されているが、マイナス影響は特に出していない。「自立発展性」については、プロジェクト終了後もプロジェクトの活動や効果が継続、拡大されていく見込みは高いが、財務面に多少の不安があることは否めない。

第5章 提言等

5-1 提言

プロジェクトの実施は人材育成やJICの組織再編により進捗をみせているが、プロジェクト目標の達成を促進するために、プロジェクト終了までの残り期間の活動において必要な事項として以下の点における改善策の実施を行う必要がある。

- (1) ICD政策の展開を促進するためには展開戦略を策定することが重要である。また、展開戦略の中で展開プロセスを推進・調整する組織的な体制をDFCD内に形成することが必要である。
- (2) プロジェクトはICD政策実施の触媒的な役割を果たすことがDFCD内でも認識されている。プロジェクトの経験をICD政策展開のプロセスに反映させていくためには、プロジェクトとICD政策の推進を担当しているLearning and Environment Branchとの連携・調整が重要である。この部署から参加していたJICのメンバーの異動による欠員を埋め、責任ある関係者をJICのメンバーに任命することが必要である。
- (3) JICの再編後、JIC-POMはプロジェクト実施においてより大きな責任と役割を担うようになった。JIC-POMが主導的にその役割を果たし、効果的な調整を行っていくために組織的な体制の整備を行うことが重要である。
- (4) 東セピック州でのパイロット活動の実施においては、州行政、郡行政、他のステークホルダーに対してICD政策の啓発並びに情報普及のためのワークショップの開催を行うことが重要である。大臣、次官の参加を得た啓発セミナーの開催は州行政や郡行政の上層部の理解と支持を得るために非常に重要である。開催が延期されていたが、2010年10月の開催に向けてJIC-HQとJIC-ESが緊密な調整を行うことが必要である。JIC-HQとJIC-ESの連絡不足、相互理解の不足による行き違いが発生したことがあったが、速やかに解決しておく必要がある。
- (5) パティコ村でのパイロット活動はCLDC F/Pを機能させるモデルとなる。そのためにも、遅れているパティコ村のCLDC F/Pの施設改修を迅速に実施することが重要である。
- (6) ICD政策では、CLDC F/Pが政府、NGO、教会、民間のコミュニティ開発に関するプログラムやリソースの情報をCLDC F/Pを通じて提供することが重要な機能として定められている。このような機能をCLDC F/Pが果たしていくためには、情報を収集・蓄積し提供できるようにならなくてはならない。DFCD、NCDC、東セピック州並びに郡はそれぞれCLDC F/Pを通して提供できるコミュニティ開発にかかわるプログラムやリソースの情報を整理して提供することが必要である。
- (7) CLDC F/Pを機能させるためには、NCDCと東セピック州がそれぞれのCLDC F/Pに対して交通費や他の運営費用などの必要な予算を配分することが重要である。さらに、ICD政策に沿ったコミュニティ開発の予算を毎年確保していく必要がある。

(8) 以上のような改善策並びにプロジェクト実施の現状を踏まえて、PDMの改訂が必要である。
PDMの改訂版はJCCで確認し承認された。

(9) プロジェクト報告書は改訂版のPDMで示された活動や成果、プロジェクト目標、及び指標に沿って、その進捗がモニタリングできるように作成することが必要である。

5-2 改訂されたPDMに基づく今後の活動方針

今後のプロジェクトの運営において、改訂されたPDMに即して以下の点を重視して活動を実施していくことが望ましい。

- (1) DFCDのICD政策展開の戦略の作成や展開プロセスの実施体制の強化、プロジェクトの経験を展開プロセスに反映させる仕組みを強化する必要がある（成果1、2）。
- (2) CLDC F/Pの能力強化としてコミュニティ開発情報の蓄積と提供（成果3）。
- (3) NCDC及び東セピック州CLDC F/Pへの支援の能力と仕組みの強化（成果4）。
- (4) パイロット活動の実施を通してJICとCLDC F/Pコーディネーターの研修とOJTを通じた能力強化、組織的な支援の仕組みを強化し、その経験を基にICD政策の展開のプロセス（CLDC F/Pの機能強化のプロセス）をモデルとしてまとめ、ICD政策展開プロセスのガイドラインを作成する（成果5）。
- (5) ガイドラインの普及を含めたICD政策の実施促進のために多くのステークホルダーに対する普及・啓発の実施を行う（成果6）。

5-3 団長所感

(1) JICの再編によるDFCD、NCDC、東セピック州の役割の明確化

JICの組織構成は、DFCDとNCDCの関係者により構成されていたJIC-POMがDFCDを中心としたJIC-HQとNCDCを中心としたJIC-POMに分割され、NCDのセトルメントでのプロジェクト実施の役割と責任をNCDCがより多くもつことになった。これにより、南モレスビー地区のCLDC F/Pのパイロット活動並びにセトルメントのCLDCに対する支援に対してNCDCのJIC-POMがNCDCの業務の中で組織的な取り組みを行っていく体制を作っていくことが求められる。そのための能力強化をプロジェクトで継続して実施することが必要である。JIC-HQでは、NCDと東セピック州のパイロット活動のモニタリングと支援の実施と共に、パイロット活動の経験と教訓の取りまとめ、ICD政策の展開プロセスへの反映という役割が明確になり、DFCD内部並びにNCDCと東セピック州、さらには他の省庁やNGOとの調整機能を強化することが求められる。一方、DFCD、NCDC、東セピック州のJICの長とそれぞれの機関のトップマネジメントとの関係が組織的な支援の強弱に影響を与える場合がある。DFCDでは次官との関係が良好であるが、東セピック州では州行政長官との関係があまり良好でないようである。東セピック州ではプロジェクトへの2010年度予算の申請を行ったが確保できなかった。NCDCにおいてもトップマネジメントとの関係があまり強くなく、十分な支援を得るために、

NCDCの知事、シティマネージャーを含めた上層部への啓発ワークショップが開催された。これにより上層部の理解と支援が強化されつつある。「パ」国では個人の個性が強くマネジメントレベルで軋轢が発生する場合があります、人間関係の部分も注視しておく必要がある。

(2) プロジェクトの経験、モデルをICD政策展開に反映させる仕組みの強化

プロジェクトの経験、特にパティコ村でのパイロット活動におけるCLDC F/Pを通じたコミュニティへの支援のプロセスはICD政策の展開、CLDC F/Pの機能強化のプロセスのモデルとして活用することができる。プロジェクトで形成されたモデルや経験をICD政策の展開に反映させるためには、ガイドラインとして整備するとともに、DFCDでICD政策の展開の担当部署であるLearning and Environment Branchとの連携・調整を強化する必要がある。同部署が担当しているICD政策展開戦略策定への支援はプロジェクトとの連携を強化する良い機会であり、ICD政策推進・調整のための組織体制の整備を働きかけることができる。JIC-HQのメンバーにICD政策担当部署の責任ある人材の配置も連携・調整の強化につながるものと思われる。

(3) パティコ村、南モレスビー地区のパイロット事業を通じたICD政策展開プロセスのモデル化

パティコ村並びに南モレスビー地区でのパイロット事業はCLDC F/Pの能力強化のOJTとしてF/PコーディネーターとJIC-ES、JIC-POMの能力強化につながるとともに、そのプロセスをCLDC F/Pの機能強化、ICD政策展開のモデルプロセスとして活用することができる。プロジェクトではパティコ村での実施プロセスをビデオで映像化しており、ICD政策展開の広報、普及活動にも映像資料として効果的に活用できる。パイロット事業の経験はICD政策展開のガイドラインとして取りまとめることになるが、農村部であるパティコ村の事例とNCDのセトルメントの事例では、コミュニティのリーダーの状況やCLDC F/Pが担当する地域的な範囲が異なり、CLDCの活動に対するアプローチの仕方、F/Pコーディネーターのコミュニティへのアプローチの仕方に違いが出てくる可能性がある。これらの農村部とセトルメントの状況の相違からくるアプローチの相違、適切なアプローチの仕方についてもガイドラインでまとめられることが望ましい。

(4) 柔軟なパイロット活動数の設定

パイロット活動は当初の計画ではNCDと東セピック州で2件ずつ、計4件実施することになっている。現在パイロット活動は東セピック州ではパティコ村で計画策定を行っている段階で、近々実施の段階に移る。もう一つは対象村落が選定された段階である。NCDではパイロット活動の対象セトルメントの選定の段階にある。プロジェクト実施期間は終了まであと1年半であり、パイロット活動を4カ所すべてで同じようなかわり方で実施するのは時間的に難しい可能性がある。パイロット活動の内容にもよるが、施設建設を伴う場合かなりの時間がかかることが予想される。東セピック州のもう一カ所の対象村落はアクセスが悪いこともあり、専門家チームがパティコ村と同じようなかわり方をすることは難しくCLDC F/Pコーディネーターを通じたかわり方と対応の仕方を変える必要もある。プロジェクト期間中にパイロット活動を完結できない可能性も考えられることや、パイロット活動を踏まえたICD政策展開のガイドライン作成の作業もあり、必ずしも4カ所にこだわらなくてもよいかと思われる。専門家チームともこの点に関して議論を行い、数についてはパイロット活動の内

容に応じて柔軟に対応することとし、かかわり方に濃淡をつけたり、既に支援を行っているゴロベの女性銀行の活動をパイロット活動と位置づけることも考えられ、パイロット活動自体の実施というよりも、CLDC F/Pの機能の強化に重点を置くことが望ましい。

(5) ICD政策展開にかかわる2段階の啓発ワークショップ

東セピック州のパイロット事業の実施状況から得た印象として、ICD政策の展開においては2段階の啓発ワークショップの開催が必要になると思われる。CLDC F/Pの設置に関して州行政や郡行政の上層部の理解と支援を促すためにICD政策のアプローチを紹介する啓発ワークショップが第一段階で必要となる。またCLDC F/Pによる支援を通じたCLDCの活動の成功事例を作ったうえで、CLDC F/Pが果たす機能の実例を紹介し、実際に現場を訪問してCLDC F/PとCLDCの活動を視察することを含め、ICD政策のアプローチの利点をさらに理解してもらう啓発ワークショップを第二段階で実施し、州行政、郡行政、他のステークホルダーに対して実例を示して他の地域、郡への普及を促進する契機とすることも考えられる。また、州や郡の上層部の理解と支援を引き出すためには、そのようなワークショップにDFCDの大臣や次官が出席して説明を行うことが効果的である。

(6) CLDC F/Pへの情報蓄積とネットワークの強化

CLDC F/Pの機能強化において政府、NGO、教会、民間などのプログラムやサービス提供のリソースに関する情報を蓄積しコミュニティに提供できるように情報の整備を行うことが重要な強化策になる。プロジェクトの専門家チームが今後の活動として提案しているように、まずはNCDCが女性銀行をはじめとしてCLDC F/Pを通じて提供できるプログラムの情報を整備してデータベース化する作業が重要になる。また、CLDC F/Pがベースライン調査などを通じてコミュニティのニーズやCLDCの存在などコミュニティの情報を収集することにより、CLDC F/Pがコミュニティのニーズを政府や他のサービス提供機関のプログラムやリソースにつなげる役割を果たすことができる。DFCDやNCDC、州政府がCLDC F/Pを通じて提供できるリソースの情報を提供し、情報を蓄積する過程において他の政府機関やNGOなどの外部リソースとのネットワークの強化を図っていくことが必要である。CLDC F/Pの機能強化のプロセスのモデルを示す場合においても情報の蓄積とコミュニティへの情報提供、外部のプログラムへのアクセスの提供事例を紹介することによりICD政策展開の促進を図ることができる。専門家チームが提案するようにまずは中央レベルのNICDACでCLDC F/Pが果たしている機能の実例を示し、ICD政策の展開の促進とそのためのネットワークの強化を図ることが必要である。

(7) JIC-ESのPICDACへの発展的展開の可能性

JIC-ESはコミュニティ開発局のシニアアドバイザーを中心に、計画局、保健局、教育局、地方自治体局、一次産業局、商工局の局長レベルにより構成されている。実際の活動はコミュニティ開発局の職員による事務局が動かしているが、州の主要な部局の長がJICに参加していることにより、パイロット活動の動きやICD政策への理解の促進につながっている。自分の部局が実施しているプログラムをCLDC F/Pを通して提供できそうだと認識しているメンバーもおり、将来的にはJIC-ESがPICDACに発展的に展開することも考えられる。NCDCにおいても同様にJIC-POMにコミュニティ開発、セトルメント開発にかかわる関連部局の職員が参加して

おり、PICDACと同様の組織的な体制作りの基盤となる可能性がある。

(8) ICD政策展開に関連する郡選出国會議員の支援の引き出し

ICD政策の展開においてDFCDは州行政長官、郡行政長官とMOAを締結し、DFCD、州行政、郡行政の役割をそれぞれ規定している。MOAには郡選出の国会議員も署名することになっている。パティコ村がある東セピック州のWosera Gawi郡では郡選出の国会議員が選挙区開発資金の予算からCLDC F/Pのために車を供与している。CLDC F/Pの活動においては交通手段が重要であり、車の提供は大きな貢献となっている。ICD政策の展開においてはこのような郡選出の国会議員の理解と支援を得て、議員の選挙区開発資金からの支援を引き出すことが重要になると思われる。

(9) PNG事務所によるフォローアップの重要性

プロジェクトは業務実施型で実施されており、専門家チームは短期滞在を繰り返すシャトル型で協力を行っている。専門家滞在時に技術指導を行い、「宿題」を残して専門家不在時にもC/Pが活動を実施することで、C/Pのオーナーシップの醸成にもつながっている。プロジェクトでは現地のプロジェクトオフィサー的な人材を配置していないことから、専門家チーム不在時のプロジェクトのフォローアップが必要な時はJICA PNG事務所の職員のかかわりが重要になる。これまで事務所職員がプロジェクトの活動を継続的にフォローしC/Pと緊密な良い関係を築いてきており、プロジェクトの円滑な実施につながっている。コミュニティ開発に関連するJICAの研修にプロジェクトのC/Pや関係者を優先的に参加させるなど、側面的な支援を行い、C/PやC/P機関の能力強化にもつながっている。事務所の役割は重要であり、今後も継続的にプロジェクトの進捗管理と支援を行っていくことが望まれる。

付 属 資 料

1. 調査日程表
2. 面談者リスト
3. M/M
4. 評価グリッド
5. 質問票
6. PDM 改訂版（和文）

1. 調査日程表

パプアニューギニア国総合コミュニティ開発プロジェクト 中間レビュー調査 日程表

	日付		武田総括、天池団員	昌谷団員
1	8月 28日	土		21:05 成田発 (PX055)
2	29日	日		04:30 ポートモレスビー (POM) 着
3	30日	月		09:30 JICA 事務所との打合せ 13:00 専門家チームへのヒアリング
4	31日	火		09:00 プロジェクトマネージャー、DFCDスタッフへのヒアリング
5	9月 1日	水		09:00 NCDCスタッフへのヒアリング
6	2日	木		09:00 POMサイト調査 15:35 POM発 (PX126) 17:45 ウェワク着
7	3日	金		09:00 東セピック州スタッフへのヒアリング
8	4日	土	21:05 成田発 (PX055)	07:30 Patiko村での調査
9	5日	日	04:30 POM着	報告書作成
10	6日	月	05:00 POM発 (PX7126) 07:10 ウェワク着 →Maprikへ移動 13:00 Patiko水委員会 (於: Maprik)	
11	7日	火	09:00 PDM改訂にかかる検討 13:00 東セピック州プロジェクト合同実施委員会 (JIC-ES)	
12	8日	水	06:00 ウェワク発 (PX125) 08:10 POM着 10:30 プロジェクトマネージャーへのインタビュー 13:00 中間レビュー報告書にかかる協議	
13	9日	木	09:00 JCC開催 14:00 報告書作成	
14	10日	金	10: 00 Savakaセトルメント訪問 13:00 計画省への報告 14:30 日本大使館への報告 15:30 JICA 事務所への報告	
15	11日	土	14:15 POM発 (PX054) 19:55 成田着	

2. 面談者リスト

主要面談者

(1) パプアニューギニア国側関係者

コミュニティ開発省 (DFCD)

Dame Carol Kidu	Minister
Mr. Joseph Klapat	Secretary (Project Director)
Ms. Leonie Rakanangu	First Assistant Secretary of Governance & Economic Branch, Community Development Division (Project Manager)
Mr. Taom Meren	JIC-HQ Vice Chairperson
Ms. Jenny Siviak Kidu	JIC-ICD Policy Coordinator
Mr. Kweho Luluaki	Liaison Officer for JIC-ES
Mr. Steven James	Liaison Officer for JIC-POM

国家計画モニタリング省 (Department of National Planning and Monitoring)

Mr. Lawrence Duguman	Assistant Secretary, Bilateral Aid Section
----------------------	--

首都圏庁 (NCDC)

Mr. Dixon Dama	Coordinator-Special Project (Deputy Project Manager/ JIC-POM Chairperson)
Ms. Lucinda Laviriu	Womens Officer, Social Services
Mr. Kaupa Kiripa	Village Court Inspector, Village Courts
Ms. Kay Kaugla	Womens Officer, Social Services
Mr. Tom Kamtai	Licensing Officer, Licensing

東セピック州 (ES)

Mr. Fred Likia	Senior Advisor, Division of Community Development, JIC-ES Chairperson
Mr. Alphonse Kami	Acting Director, Planning Office,
Mr. Mark Nagai	Senior Advisor, Division of Health
Ms. Elizabeth Kaprangi	Senior Advisor, Division of Commerce and Industry
Mr. Pius Makaje	Senior Advisor, Division of Education
Mr. Michael Manguan	North Wosera LLG Officer (CLDC F/P Coordinator)

(2) 日本国側関係者

在パプアニューギニア日本大使館

藤村 武	一等書記官
------	-------

JICA 専門家

山根 春夫	副総括/組織管理・能力管理 2
深沢 信一	PCM/研修計画管理
川畑 雅之	コミュニティ開発/パイロット活動計画 1
千田 正雄	パイロット活動計画 2
西森 勇記	業務調整

JICA パプアニューギニア事務所

水谷 恭二	所長
根崎 俊	所員
岩本 洋光	企画調査員

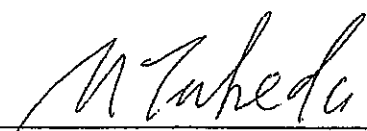
MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
THE JAPANESE MID-TERM REVIEW TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE INDEPENDENT STATE OF PAPUA NEW GUINEA
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE INTEGRATED COMMUNITY DEVELOPMENT PROJECT

The Japanese Mid-term Review Team (hereinafter referred to as “the Team”), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”), headed by Dr. Nobuhisa Takeda, visited the Independent State of Papua New Guinea (hereinafter referred to as “PNG”) from August 29 to September 11, 2010 for the purpose of the mid-term review of the technical cooperation project on Integrated Community Development (hereinafter referred to as “the Project”).

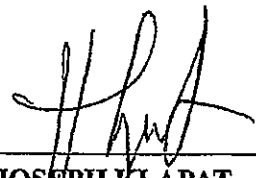
During its stay in PNG, the Team reviewed the progress of the Project and had a series of discussions with Department for Community Development (hereinafter referred to as “DFCD”) and the authorities concerned with the Project.

As a result of the review and discussions, the Team and DFCD agreed to report to their respective authorities the matters referred to in the document attached hereto.

Port Moresby, September 9th, 2010



DR. NOBUHISA TAKEDA
Leader, Mid-term Review Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



MR. JOSEPH KLAPAT
Secretary
Department for Community Development
Papua New Guinea

ATTACHMENT

I INTRODUCTION

1. Background and Objectives of the Review

The Project, which started in March 2009 to last for three years, aims to strengthen human resources, organizational capacity and structures, which are required for promoting sustainable community development based on the Integrated Community Development Policy (ICD Policy). Since it has approached to the mid-term of the cooperation period, JICA dispatched the Mid-term Review Team to monitor the degree of achievement based on the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "the PDM") and to review comprehensively with five evaluation criteria, namely, Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact, and Sustainability.

2. Members of the Review Team

Dr. Nobuhisa Takeda Team Leader	Senior Advisor, JICA
Ms. Mayumi Amaike Cooperation Planning	Assistant Director, Public Administration Division, Public Policy Department, JICA
Mr. Izumi Sakaya Evaluation Analysis	Senior Consultant, Economic and Industrial Development, Global Group 21 Japan, Inc.

3. Methodology of Review

3.1. Procedure

The Team conducted literature and questionnaire surveys, and interviewed with the counterpart personnel and the Japanese experts as well as those officials concerned with the Project. The Team also made the visit to the project site and had a series of discussions with the PNG side. The Team analyzed the results of the surveys and reviewed the Project.

3.2. Items Analyzed

The Team analyzed i) achievement of the Project, ii) implementation process and iii) items based on five evaluation criteria. The detailed list of analyzed topics is shown in Annex 3, as "Evaluation Grid".

(1) Achievement

Achievement of the Project, or Project performance, was measured in terms of Inputs, Outputs, and Project Purpose in accordance with the Objectively Verifiable Indicators of the PDM.

(2) Implementation Process

Implementation process of the Project was reviewed from the various viewpoints, such as technical transfer, communications among stakeholders, and monitoring process, to see if the Project



has been managed properly as well as to identify obstacles and/or facilitating factors that have affected the implementation process.

(3) Review based on the Five Evaluation Criteria

The Team also assessed the Project from the viewpoint of following five evaluation criteria.

1) Relevance

The extent to which the Project Purpose and Overall Goal are consistent with the government development policy of PNG as well as the cooperation policy of Japan, and the needs of beneficiaries.

2) Effectiveness

The extent to which the Project has achieved its purpose, with clarification of the relationship between the Project Purpose and Outputs.

3) Efficiency

The extent to which resources/inputs (funds, expertise, time, etc.) are efficiently converted to results/output with particular focus on the relationship between inputs and outputs in terms of timing, quantity and quality.

4) Impact

Project effects on the surrounding environment in terms of technical, socio-economic, cultural, institutional and environmental aspects, as well as the prospect to what extent the Overall Goal will be achieved.

5) Sustainability

The extent to which the achievements of the Project will be sustained or expanded after the cooperation is completed. Sustainability of the Project is examined from the standpoint of policy, organizational, financial and technical aspects.

II REVIEW OF THE PROGRESS

1. Inputs to the Project

Since the Project's commencement in March 2009, inputs made by both Japanese and PNG sides during one and a half years are summarized as follows. Further information on the inputs is shown in Annex 1.

(1) Japanese side

a) Dispatch of experts

Eight (8) experts were dispatched by the end of August 2010. The total of dispatched period for the Japanese Fiscal Year (JPY) 2009 is 23.0 man/month, and the plan of the JPY 2010 is 23.1 man/month.

The list of the experts and duration of their stay in PNG is shown in Annex 1.

b) Training of counterpart personnel in Japan

Five (5) of counterpart personnel participated in training in Japan, from October 24th to November 15th 2009. The list of the participants is shown in Annex 1.

c) Provision of equipment

Equipment in total valued at around 966,000 Japanese yen was provided for the Project by the end of

August 2010. The list of equipment is shown in Annex 1.

(2) PNG side

a) Assignment of counterpart personnel

A total of 37 persons were officially assigned as the counterpart personnel of the Project by the PNG side. The list of counterpart personnel is shown in Annex 1.

b) Provision of office spaces

The PNG side secured Project office spaces at DFCD, National Capital District Commission (NCDC) and East Sepik Provincial Administration (ESPA).

c) Budget for project operation

The PNG side has provided transportation cost of counterpart personnel, pilot activities and others.

d) Others

Other necessary facilities for implementation of the Project have been duly provided.

2. Project Achievement and implementation process

2.1. Activities

Activities of the Project have been conducted without major delays compared with the planned schedule. The progress of each activity stated in PDM is shown in Annex 2.

2.2. Outputs

The Team confirmed that the Project has so far fulfilled the following outputs along with the plan stated in PDM. The degrees of fulfillment are shown under each output.

Output 1: Organizational structure and their functions are strengthened for ICD Policy implementation.

Indicator
1. The number of regular meetings of committees under operational management strategies at all levels including National, Provincial, and District and CLDC levels.

(Indicator 1)

Joint Implementation Committee (JIC) meetings have been held weekly at JIC-HQ and JIC-POM. The number/frequency of meetings of JIC-ES is not reported, and for the last two months JIC-ES meeting has not been held.

Output 2: Capacity of DFCD for implementing sustainable community development activities based on ICD Policy implementation is strengthened.

Indicator
2. No. of CLDC activities monitored by DFCD Liaison Officers in the Project activity areas increases.

(Indicator 2)



JICs are responsible to monitor Community Learning and Development Center (CLDC) activities through Focal Point (F/P) coordinators in the target areas, and it is functioning well. Although the system has been established for DFCD Liaison Officers to monitor CLDC activities, it is not functioning well at the moment.

Output 3: Capacity of CLDC Focal Points and community groups for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened.

Indicators
3.1 The number of Focal Point Coordinators and CDOs received the training from DFCD based on training manual developed under the project.
3.2 The average number of CLDCs facilitated by CLDC F/Ps in the Project-targeted areas increases.
3.3 CLDC F/Ps mobilize greater range of stakeholders that support its operation.

(Indicator 3.1)

Two CLDC F/P coordinators, as well as other community development officers have participated in training workshops under the Project. The following PCM workshops have been organized:

PCM Workshops Provided by JCT

Date	Participants	Theme	Facilitator
3rd April, '09	JIC-POM members	Introduction to PCM	M. Kawabata (JCT)
16 th June, '09	JIC-POM members	stakeholder analysis, problem analysis	do
19th June, '09	JIC-ES members	Introduction to PCM	do
26th June, '09	JIC-POM members	Objective analysis, project selection, project design matrix (PDM)	do
3rd July, '09	JIC-POM members	PDM, overview	do
16th, 17th November '09	DFCD liaison officers, JOCV	stakeholder analysis, problem analysis	T. Otake (JCT)
4th, 5th February '10	CLDC focal point coordinators	stakeholder analysis, problem analysis	do
11th, 12th, 16th February '10	DFCD managers	stakeholder analysis, problem analysis, overview, follow-up	do

Apart from PCM workshops other workshops and seminars, including Accounting workshop, Women's bank workshop and Provincial development planning seminar, have been conducted.

(Indicator 3.2)

In POM, there are two CLDCs; Vadavada and Gorobe facilitated by the F/P coordinator. In East Sepik, the F/P coordinator covers one CLDC so far.

(Indicator 3.3)

At the moment other stakeholders are not much involved in the Project operation. However, the Project plans to establish the system where other stakeholders such as churches and NGOs are mobilized in community development in the framework of ICD Policy.

Output 4: Capacity of the National Capital District Commission (NCDC) and a selected Provincial

Government for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened.

Indicators
4.1 Provincial and District budget for community development through CLDC Focal Point activities increases.
4.2 No. of technical support of NCDC and Provincial Government to CLDC F/P increases.

(Indicator 4.1)

See Indicator 3 of the Project Purpose.

(Indicator 4.2)

At the moment, NCDC (JIC-POM), Provincial Government (JIC-ES) and CLDC F/P coordinators together receive technical support, such as training through seminars and workshops under the Project.

Output 5: Guidelines for implementing sustainable community development based on ICD Policy are improved and expanded.

Indicator
5. The number of Guidelines endorsed by DFCD for further CLDC focal Point roll-out.

(Indicator 5)

One guideline for ICD Policy implementation based on experiences of pilot activities and another for Women's Bank Program are under preparation. DFCD also has a number of manuals and guidelines for community development.

Output 6: Experiences of the CLDC F/Ps supported under the Project feeds into the ICD Policy roll-out process.

Indicator
6. Guidelines, brochures and tool kits developed under the Project are used for CLDC F/P roll-out in other Provinces.

(Indicator 6)

Besides the two guidelines under preparation mentioned in Indicator 5, Newsletter Volume 1 was issued in March 2010. The Volume 2 is being prepared.

2.3. Project Purpose

Project Purpose: Human resources, organizational capacity and structures, which are required for promoting sustainable community development based on ICD Policy, are strengthened.

Indicators
1. All key personnel at the National, Provincial and District levels, who are involved in the Project activities, demonstrate their improved understanding and commitment to ICD Policy implementation.
2. The amount of resources channeled through CLDC F/P increases in the Project activity areas.



3. Both DFCD and the NCDC, Provincial and District Governments secured and disbursed appropriate budget to CLDC F/Ps annually from 2009 to 2011.

(Indicator 1)

According to the observations by the Experts, most of counterpart personnel increasingly understand importance of ICD Policy, as well as the Project, as they show their positive commitment in various internal and external meetings and in opportunities of presentations.

(Indicator 2)

The implementation of the pilot activities has not started.

(Indicator 3)

The national budget for the Project was K400,000 in 2009 and K500,000 in 2010 (expended basis, excluding personnel cost). The NCDC provided the budget of K50,000, K50,000 and K250,000 in 2008¹, 2009 and 2010 respectively for the Project in POM, which is enough for the activities. On the other hand, the Project cost in East Sepik is totally provided by DFCD. It seems that the amount of disbursed budget is not sufficient for activities in East Sepik as the CLDC F/P coordinator suffers from lack of funds for travel expenses, for example.

As for Project Purpose as a whole, while human resources have been firmly strengthened so far, financial resources for activities in East Sepik would need to be carefully reviewed, as shown by the indicators. Apart from the indicators, the Review Team found that organizational capacity development was in progress and structural arrangement for the Project and ICD Policy roll-out was improving, which would accelerate the degree of achievement of the Project Purpose hereafter.

2.4. Overall Goal

Overall Goal: Community development in PNG is promoted based on the Integrated Community Development Policy.

Indicators
1. The average number of CLDCs supported by CLDC F/P increases.
2. CLDC F/P are established in other Districts and Provinces.

(Indicator 1 and 2)

It is known that at least 2 CLDC F/Ps, Wosera Gawi of East Sepik Province and POM South, are operational out of 13 F/Ps. For the rest of the F/Ps, the information is not available.

2.5. Implementation Process

The Team confirmed that the implementation process of the Project has been generally appropriate. The following are the major points observed by the Team;

(1) Communications and relations between the Experts and PNG counterpart personnel (C/P) have

¹ For ICDP Phase I.

been mostly appropriate, even though the Experts stay in PNG for relatively short period for each visit.

- (2) Progress reports of the Project have been submitted regularly on schedule.
- (3) Joint Coordinating Committee (JCC) has been so far held three times in April 23rd, July 8th 2009, and June 10th 2010, more frequently than stipulated in Record of Discussions (R/D).
- (4) It is observed that many of PNG C/P's motivation and work discipline have been changing to the positive direction, which would contribute to consolidation of ownership of the Project.
- (5) Residents of Patiko village, a pilot activity site, are very positive and participative for the activity, thanks to F/P coordinator's utmost effort as facilitator.
- (6) The reorganization of JIC, where former JIC-POM was divided into JIC-HQ and JIC-POM, has brought clear demarcation of roles and functions of three JICs.
- (7) There are some miscommunications/misunderstandings between JIC-HQ and JIC-ES. Although the problem has not caused major adverse effects on the Project at the moment, it could impede Project activities in the future if not solved.

III REVIEW BASED ON FIVE EVALUATION CRITERIA

The summary of five evaluation criteria is shown below.

1. Relevance

The Project is highly relevant because of the following reasons.

(1) Consistency with policy of PNG Government

The Project aims to directly support ICD Policy, which is the first national policy for community development of PNG. Also, whereas PNG Vision 2050 specifies "spiritual, cultural and community development" as one of seven pillars of strategic focus, PNG Development Strategic Plan 2010-2030 mentions the importance of community development.

(2) Consistency with needs of beneficiaries

The direct beneficiaries are PNG staff involved in community development at national, provincial, district and community levels. They need to strengthen their capacity for their tasks under the ICD Policy. The target activities of the Project are carefully designed with needs survey, to meet the needs of community members of the target areas.

(3) Consistency with ODA policy of Japanese Government

Japan's ODA policy towards PNG has four (4) focal areas; i) sustainable economic growth, ii) improvement of social services, iii) poverty reduction, and iv) climate change. The Project broadly falls in the third field. Further, the policy specially refers to strengthening human resources for effective development, to which the Project is very much relevant.

(4) Advantage of Japan's cooperation in the Project

The preceding project "Integrated Community Development in Settlement Areas in National Capital District Project", (ICD Project Phase I) undertaken by JICA for three years from 2005 to 2008, was highly praised by DFCD and the achievements of the project, such as strengthened human resources and infrastructure like community halls, are utilized in the present Project. The Project, like

the previous one mobilize various methods for development such as participatory development and engineering, with which Japan has advantages.

2. Effectiveness

The Team considers that effectiveness of the Project is at reasonably high level.

As seen in II 2.3. above, it is difficult to judge at this stage whether the Project Purpose is likely to be achieved by the end of the Project period, since data for indicators to measure achievement are not yet totally available. However, many of members of the Project, including Experts, express the view that the achievement of Project Purpose will be possible on the ground that so far PNG staff for community development, including C/P, has attained new skills and knowledge through Project activities as expected.

Positive factors to be contributing to effectiveness of the Project are, among others: i) there are good communications between Japanese Experts and PNG C/P, ii) various workshops and seminars, PCM workshops in particular which most of C/P have attended, were very effective for C/P to expand their capacity, iii) with recent restructuring of JIC system, the roles and functions of each JIC became clear. On the other hand, internal miscommunications among PNG side could be a threat to effectiveness of the Project.

3. Efficiency

The Team found that the degree of total efficiency of the Project is good, judging from performances of inputs and outputs. Further improvement is desired for the Project implementation hereafter.

(1) Appropriateness of input

The Project has eight Experts, each of whom visits PNG on short-term basis, depending on his/her assignment. For each period of the stay, while working jointly with C/P, the Expert assigns some tasks for the C/P before leaving. It seems that this style of services has been generally efficient as it increases the responsibilities of C/P while Experts are away and hence strengthens ownership by PNG side. The Experts have fully dedicated themselves to the Project transferring skills/knowledge, with which most of C/P express their satisfaction and appreciation.

Capability and allocation of PNG C/P is mostly appropriate in implementing activities. As the number of C/P in the East Sepik Province was initially not enough, additional members have been appointed as "secretariat" to complement Project implementation. For some of C/P in JIC-POM and JIC-HQ, because they have routine works as government officers, the Project activities make them quite busy, causing them relatively not active about the Project activities while Experts are away from PNG.

In 2009, 5 PNG members participated in a training course in Japan on integrated community development. All of the participants are generally satisfied with the programs and what they acquired in the training have been already utilized in several Project activities, including formulating Plan of Operation of each JIC and organizing an NGO Forum. On the other hand, discouraging fact about C/P

training is that due to a decrease of budget from Japanese side the number of participants has been lessened from the original plan, for the training in the Philippines scheduled in September 2010.

For the Project, the Japanese side has provided some machinery and equipment, mostly office equipment, which are duly utilized.

(2) Achievement of output

As seen in indicators of Outputs in II 2.2, the Project is still not at a stage where many of outputs are visibly fulfilled. Each activity stated in the PDM has been implemented without much delay.

4. Impact

Although at this stage it is difficult to judge the prospect of achievement of the Overall Goal, as seen in II 2.4, many of C/P, especially of JIC-POM are confident that community development is promoted to PNG as nation-wide, rather than confined to target areas of the Project, with experiences of the pilot activities under ICD Project.

Some positive impacts are observed, including:

- 1) The planning method applied under the Project was extended to other Government division of the ESPA, as one of JIC-ES members, after participating in PCM training workshops, formulate Plan of Operation for other project of his/her responsibility, by utilizing PCM method.
- 2) Under the pilot activities of ICD Project Phase I, many residents of the settlements took part in training for carpentry and catering. A number of those who trained and received a certificate successfully found the job outside settlement. It is expected the same would happen for Phase II.

No negative impacts were observed nor anticipated in the future at the moment.

5. Sustainability

The Team found that in total the sustainability of the Project is likely to be secured with some reservations..

(1) Policy aspect

The ICD Policy is one of principal government policies of PNG. It is not like that ICD policy will shrink to such an extent that the activities under the Project will be discouraged after the completion of the Project.

(2) Institutional aspect

To strengthening institutional framework for promotion of sustainable community development is part of the Project Purpose itself. With achievement of the Project Purpose, the mechanism to promote and sustain community development activities should be secured.

(3) Technical aspect

During the review, most of C/P expressed their confidence that by the end of the Project, they would have acquired enough capacity to promote community development by themselves based on the ICD Policy. Especially the C/P who also took part in ICD Project Phases I showed optimistic views, as far as technical aspects are concerned. The mechanism to disseminate their capacity to other community development officers and stakeholders will be critical to secure technical sustainability and



again that is exactly what the Project is aiming to set up.

(4) Financial aspect

As mentioned in II 2.3, both the national and NCDC budgets for the Project have been increasing, even though not fully sufficient. On the other hand, the budget for the Project by East Sepik Provincial Administration has not been secured at all. In total, judging from the trend of the national and NCDC budgets for the Project, the significance of the ICD Policy, and current economic condition of PNG, the expenditure for ICD Policy implementation, including Project activities, is not likely to be drastically reduced in the future. However, the financial situation of the Project in East Sepik Province is one factor which could threaten sustainability of the Project.

IV RECOMMENDATIONS

As a result of discussions and of review based on five evaluation criteria, the team recognized the progress of the Project. In order to accelerate the achievement of the Project Purpose, the following measures are recommended to be taken in the remaining Project period:

1. For promoting ICD policy roll-out, it is important to formulate ICD policy roll-out strategy by DFCD. It is also necessary to formulate appropriate organizational setup to coordinate ICD policy roll-out process.
2. The Project is regarded as the catalyst for ICD policy implementation. In order to reflect experiences from the Project in the ICD policy roll-out process, close coordination between the Project and Learning and Environment Branch is necessary. In this connection, it is important to appoint responsible person of the Learning and Environment Branch to the JIC-HQ to fill the vacant member from the same Branch.
3. After the restructuring of JIC, JIC-POM has now more responsibilities in the project operation. It is important for JIC-POM to improve its organizational arrangement for effective coordination and to take initiative to play its roles.
4. In order to facilitate implementation of the pilot activities in East Sepik Province, it is essential to organize workshop to raise awareness of and to disseminate information about ICD Policy to Provincial Administration, District Administration, and other stakeholders. The JIC-HQ and JIC-ES should coordinate closely to organize such workshop in October 2010 as scheduled. In this connection, the miscommunication/misunderstanding between JIC-HQ and JIC-ES should be resolved immediately.
5. The pilot activity in Patiko village will provide the model to make CLDC F/P functioning. It is important to refurbish CLDC F/P facility in Patiko as soon as possible.
6. In the ICD policy, the important function of CLDC F/P is to provide information about community development resources from Government, NGOs, churches, and private sector to community through CLDC F/P. For CLDC F/P to function, it is necessary to collect and disseminate such information. DFCD, NCDC, ESPA and District Administration, should provide such information

to CLDC F/P respectively.

7. In order for CLDC F/P to function, it is important to allocate necessary fund for transportation and other operational costs to CLDC F/Ps from NCDC and ESPA respectively. In addition, it is crucial to secure budget for community development in line with ICD Policy for the fiscal years to come.
8. In view of the above mentioned issues and the current condition of project implementation, it is recommended to revise and update the original PDM. The both side consulted to update the PDM and agreed to updated version of PDM attached in the Annex 5.
9. After the completion of updated PDM, progress reports of the Project should be prepared in a manner where progress of the Project can be monitored in accordance with activities, Outputs, Project Purpose, Overall Goal and their "Objectively Verifiable Indicators" described in the PDM.

ANNEX

Annex-1	List of Inputs
Annex-2	Progress of Activities
Annex-3	Evaluation Grid
Annex-4	Project Design Matrix
Annex-5	Updated version of Project Design Matrix

HP

MT

Annex-1 List of Inputs

1. List of Experts

Name	Position	M/M (03/2009 to 03/2010)	M/M (04/2010 to 03/2011)*
Tsuyoshi HASHIMOTO	Team leader/provincial development planning	1.30	0.70
Haruo YAMANE	Co team leader/ organizational management & institutional capacity development	6.00	4.50
Shinichi FUKASAWA	Member/PCM & training program management	2.20	4.00
Masayuki KAWABATA	Member/community development & pilot activity planning	4.50	3.50
Takayasu OTAKE	Member/monitoring & evaluation	4.00	3.50
Virgilio V. DIZON	Member/micro-finance & livelihood development	3.00	2.80
Masao CHIDA	Member/community development & pilot activity planning -2		2.10
Yuki NISHIMORI	Coordinator	2.00	2.00

*Note: actual and planned schedule.

2. List of Participants of Training in Japan

Title of training course: Integrated Community Development

Duration: October 24 to November 15, 2009 (23 days)

1. Ms. Molly Willie
Deputy Project Director
Deputy Secretary, DFCD
2. Ms. Leonie Rakanangu
Project Manager
First Assistant Secretary of Governance & Economic Branch, Community
Development Division, DFCD
3. Ms. Jenny Siviak Kidu
Roll-out of ICD Policy
Acting First Assistant Secretary of Policy Branch, DFCD
4. Mr. Simeon Terina
Management of Community Development
Senior Environment & Health Officer, Water Management Section, NCDC
5. Mr. Fred Likia
Top Management of Community Development in the Province
Senior Advisor of Community Development, ESPA

3. List of Equipment Provided by Japan

Item	Number	Status
Personal computer (PC)	3	2 PCs are fully utilized. 1 PC is not installed due to inappropriate condition of Project office at East Sepik Province.
Printer	3	Fully utilized
Video projector	1	Fully utilized
Copy machine	1	Fully utilized
PC software	2 sets	Fully utilized
Ancillary equipment for PC	1 set	Fully utilized
Video camera	1	Fully utilized
Tripod	1	Fully utilized



4. List of Counterpart Personnel

1. JCC

Mr. Joseph Klapat Project Director (Secretary, DFCD)
Ms. Molly Willie Deputy Project Director (Deputy Secretary, DFCD)

2. JIC-HQ (11 members)

Ms. Leonie Rakanangu Project Manager / JIC-HQ Chairperson
Mr. Taom Meren JIC-HQ Vice Chairperson
Ms. Jenny Siviak Kidu
Mr. Albert Ombia
Mr. Kweho Luluaki
Mr. Sylvester O'oru
Mr. Steven James
Mr. Andrew Iki
Mr. Gibson Oeka
Ms. Margaret Koal
Mr. Poponu Wenda

3. JIC-ES (7 members)

Mr. Fred Likia Deputy Project Manager / JIC-ES Chairperson
Mr. Pius Munkaje JIC-ES Deputy Chairperson
Mr. Tony Hobiagi
Mr. Minda Manuambi
Ms. Elizabeth Kaprangi
Mr. Alphonse Kami
Mr. Albert Burat
<Secretariat>
Ms. Augusta Likia
Ms. Rose Wangi
Ms. Veronica
Ms. Diana
Mr. Daniel Mangen

4. JIC-POM (17 members)

Mr. Dixon Dama Deputy Project Manager / JIC-POM Chairperson
Ms. Lucinda Laviriu
Ms. Kay Kaugle
Ms. Nanai Raga
Ms. Martha Wohniehenbe
Ms. Zita Kawang
Mr. Joe Gilmo
Mr. Mathew Bai
Mr. Robert Willie
Mr. Nathan Luso
Mr. Isowa More
Mr. John Scot Mailau
Mr. Tony Mase
Mr. Kaupa Kiripa
Mr. Simeon Terina
Mr. Paul Komba
Mr. Tom Kantai



Annex-2 Progress of Activities

Progress of Activities

	Activities	Progress as of August 2010
1	Organizational structure and their functions are strengthened for ICD Policy implementation.	
1-1	JIC reviews existing project implementation and monitoring mechanisms such as Advisory and Implementation Committees, including the TORs.	It is recognized that there is no systematic support mechanism to community development and that respective government agency, NGO and church has its own support activities.
1-2	JIC clarifies the roles of DFCD, NCDC and Provincial Government in implementation of the project activities	The roles of DFCD, NCDC and Provincial Government within the ICD Policy framework are recognized by JIC
1-3	DFCD, NCDC and the Provincial Government examine the necessity of establishing the new project implementation and monitoring mechanisms.	They have started to introduce reporting and monitoring system for information sharing.
1-4	JIC take steps to build partnership with other Government departments, political leaders, NGOs and civil society organizations and the private sectors.	Information was gathered to select NGOs for conducting trainings and surveys.
1-5	JIC develops the monitoring and evaluation strategy of CLDC F/C activities including reporting mechanisms.	They have started to introduce reporting and monitoring system for information sharing.
2	Capacity of DFCD for implementing sustainable community development activities based on ICD Policy implementation is strengthened.	
2-1	DFCD conducts SWOT analysis of the organization, with a view to implement the ICD policy.	SWOT analysis was conducted in the PCM workshop.
2-2	DFCD implements relevant training activities, such as M&E, PCM conflict resolution, community mobilization and PRA for its officers, based on training needs assessment.	Experts gave training to JIC-HQ members on PCM methodology, after which JIC-HQ gave training to JIC-ES members.
2-3	DFCD develops a training manual for training of the CLDC Focal Point Coordinators and the District-level Management Committee.	Learning Section of DFCD developed training materials.
2-4	DFCD monitors and evaluates the implementation process of the pilot project activities, based on the strategies developed by JIC.	JIC-HQ set up mechanism to monitor activities of JIC-ES, JIC-POM, CLDC F/P coordinators.
3	Capacity of CLDC Focal Points and community groups for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened.	

DP

NT

3-1	DFCD, NCDC/Provincial Government, and the CLDC F/P undertakes awareness raising activities at the Provincial, District and the community levels on the CLDC concept.	JIC-ES and a CLDC F/P coordinator undertook awareness raising activities as one of pilot activities.
3-2	CLDC F/P Coordinator, in consultation with DFCD, prepares a list of services CLDC F/P could offer to the community groups.	Not started yet (as scheduled).
3-3	CLDC Focal Point Coordinator develops the list of partners who may support the work of the CLDC F/P, including the community resource list.	Not started yet (as scheduled).
3-4	JIC selects pilot activity based on agreed criteria.	JIC-ES identified a pilot activity by applying PCM method. Another target village, Wapindumaka, has been selected in North Wosera LLG of East Sepik Province.
3-5	CLDC Focal Point Coordinator conducts the baseline survey in the pilot project areas facilitated by JIC.	NGO conducted the baseline survey in Patiko Village of East Sepik Province.
3-6	CLDC Focal Point Coordinator analyses the community needs for CLDC F/P facilitated by JIC.	In Patiko Village of East Sepik Province, JIC-ES and CLDC F/P coordinator analyzed the needs of the community, by applying the PCM method.
3-7	CLDC Focal Point Coordinator and the community group(s) develop the pilot activity plans facilitated by JIC.	Leaders of Patiko Village, a representative of water commission, CLDC F/P coordinator, District officer, LLG officer, JIC-ES, JIC-HQ and Experts jointly developed the pilot activity plan.
3-8	CLDC Focal Point Coordinator and the community group(s) implement the pilot activities facilitated by JIC.	Leaders of Patiko Village, a representative of water commission, CLDC F/P coordinator, District officer, LLG officer, JIC-ES, JIC-HQ and Experts are scheduled to jointly implement the pilot activity plan.
3-9	CLDC Focal Point Coordinator and the community group(s) monitor and evaluate the pilot activities, based on the strategies developed by JIC.	Leaders of Patiko Village, a representative of water commission, CLDC F/P coordinator, District officer, LLG officer, JIC-ES, JIC-HQ and Experts are scheduled to jointly implement the pilot activity plan.
4	Capacity of the National Capital District Commission (NCDC) and a selected Provincial Government for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened.	
4-1	NCDC and the Provincial Government analyze the needs of the CLDC Focal Points for external support.	JIC-ES/JIS-POM, in cooperation with CLDC F/P coordinators, are to support communities for implementation of pilot activities. In doing so, they are trying to share their roles and functions among them.
4-2	NCDC and the Provincial Government provide the necessary technical support for CLDC F/P.	DFCD and Experts jointly support JIC-ES/JIC-POM for improvement of reporting system among others.
4-3	NCDC and the Provincial Government mobilize necessary resources for pilot activities implementation.	NCDC and DFCD provided funds necessary for pilot activities in POM South and East Sepik Province respectively.

HP

MT

4-4	JIC implements relevant training activities, such as M&E, PCM, conflict resolution, community mobilization and PRA for the NCDC and the Provincial Government staff, based on training needs assessment.	JIC-HQ members gave training to JIC-ES members.
4-5	NCDC and the Provincial Government monitor and evaluate the implementation process of the pilot activities and identify the lessons learned, based on the strategies developed by JIC.	In progress.
5	Guidelines for implementing sustainable community development based on ICD Policy are improved and expanded.	
5-1	JIC reviews the existing guidelines and manuals and evaluates the outcome of the CLDC F/P support in the Project activity area.	Experts examined guidelines and manuals for ICD Policy roll-out.
5-2	JIC conduct research on the status of CLDC Focal Point activities and documents the identified good practices.	ICD Policy implementation is at the moment limited to setting-up of CLDC F/Ps and not enabling them to function properly, except for East Sepik Province and POM. Information on good practices is not available because of lack of information sharing system and delay in ICD Policy implementation.
5-3	JIC identifies the lessons learned from implementation process of the CLDC F/P support in the Project activity area.	In progress.
5-4	JIC uses the guidelines in the process of Project implementation and revises them as necessary.	It is more relevant to developing new guidelines for ICD Policy roll-out, referring to the existing guidelines, in the process of accumulating experiences of pilot activities in ICDP-II.
5-5	JIC organizes a workshop to seek feedback from relevant Provincial and District level personnel for finalization of the Guidelines and manuals.	Not started yet (under planning).
6	Experiences of the CLDC F/Ps supported under the Project feeds into the ICD Policy roll-out process.	
6-1	JIC develops brochures to guide the work of CLDC F/Ps.	Newsletter Vol.1 was prepared and circulated to relevant parties. The Vol.2 is under preparation.
6-2	JIC develops conducts a workshop for disseminating the achievements of the Project-supported CLDC F/Ps.	Not started yet (as scheduled).

HP

mt

Annex-3 Evaluation Grid

PERFORMANCE

Topics	Questions	Information/data to be collected	Information sources	Means
Input	Was the input from the PNG side provided as planned? (C/P, offices and equipment, etc.)	Input record	Progress reports Experts, C/P	Document review Questionnaire, Interviews
	Was the input from the Japanese side provided as planned? (experts, counterpart training, equipment, local project expenses, etc.)	Input record	Progress reports Experts, C/P	Document review Questionnaire, Interviews
Achievement of the Outputs	To what extent has the Output 1 been achieved? "Organizational structure and their functions are strengthened for ICD Policy implementation."	Indicator 1 The number of regular meetings of committees under operational management strategies at all levels including National, Provincial, and District and CLDC levels.	Project reports, TORs and Meeting minutes Experts, C/P	Document review Questionnaire, Interviews
	To what extent has the Output 2 been achieved? "Capacity of DFCD for implementing sustainable community development activities based on ICD Policy implementation is strengthened."	Indicator 2 No. of CLDC activities monitored by DFOD Liaison Officers in the Project activity areas increases.	Project reports Experts, C/P	Document review Interviews
	To what extent has the Output 3 been achieved? Capacity of CLDC Focal Points and community groups for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened."	Indicator 3.1 The number of Focal Project Coordinators and CDOs received the training from DFCD based on training manual developed under the project. Indicator 3.2 The average number of GLDCs facilitated by CLDC FIPs in the Project-targeted areas increases. Indicator 3.3 CLDC FIPs mobilize greater range of stakeholders that support its operation.	Project reports, training manuals Experts, C/P Project reports Experts, C/P Project reports Experts, C/P	Document review Interviews Document review Interviews Document review Interviews
	To what extent has the Output 4 been achieved? "Capacity of the National Capital District Commission (NCDC) and a selected Provincial Government for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened."	Indicator 4.1 Provincial and District budget for community development through CLDC Focal Point activities increases. Indicator 4.2 No. of technical support of NCD and Provincial Government to CLDC FIP increases.	Project reports Experts, C/P Project reports Experts, C/P	Document review Interviews Document review Interviews
	To what extent has the Output 5 been achieved? "Guidelines for implementing sustainable community development based on ICD Policy are improved and expanded."	Indicator 5 The number of Guidelines endorsed by DFCD for further CLDC focal Point roll-out.	Project reports, Guidelines Experts, C/P	Document review Interviews
	To what extent has the Output 6 been achieved? "Experiences of the CLDC FIPs supported under the Project feeds into the ICD Policy roll-out process."	Indicator 6 Guidelines, brochures and tool kits developed under the Project are used for CLDC FIP roll-out in other Provinces.	Project reports, Guidelines, brochures and tool kits Experts, C/P	Document review Interviews
	To what extent has the Project Purpose been achieved? Is it likely that the Project Purpose will be achieved by the end of the Project? "Human resources, organizational capacity and structures, which are required for promoting sustainable community	Indicator 1. All key personnel at the National, Provincial and District levels, who are involved in the Project activities, demonstrate their improved understanding and commitment to ICD Policy implementation. Indicator 2. The amount of resources channeled through CLDC FIP increases in the Project activities areas.	Project reports Experts, C/P Project reports Experts, C/P	Document review Interviews Questionnaire survey Document review Interviews

Evaluation Grid

Mid-Term Review of the Integrated Community Development Project

	development based on ICD Policy, are strengthened."	Indicator 3. Both DFCD and the NGDC, Provincial and District Government secured and disbursed appropriate budget to CLDC FIPs annually from 2009 to 2011.	Budget documents by CLDC FIP and the Province. Project reports Experts, C/P	Document review interviews
Achievement of the Overall Goal	Within a few years after the completion of the Project, is the Overall Goal likely to be achieved? "Community development in PNG is promoted based on the Integrated Community Development Policy."	Indicator 1. The average number of CLDCs supported by CLDC FIP increases. Indicator 2. CLDC FIP are established in other Districts and Provinces.	CLDC FIP reports DFCD reports	Document review interviews Document review interviews
IMPLEMENTATION PROCESS				
TOPICS				
Activities	Have the "Activities" of the Project been implemented as planned throughout the Project period?	Progress of the "Activities"	Inception report, progress reports Experts, C/P	Document review Questionnaire, Interviews
Transfer of technology	Are the approaches/methods of technology transfer appropriate? Are there any problems in the process of transfer of technology from the Japanese experts?	Approached and methods of the transfer of technology Evaluation by C/P and Experts	Progress reports, Project reports Experts, C/P	Document review Questionnaire, Interviews
Monitoring	How has the Project been monitored? Was the result of monitoring utilized in the Project activities? Did the Japanese experts and PNG C/P communicate well?	System of monitoring. How the result of monitoring is used? How and how often the Project members communicate each other. How they reacted to the change of the plan. How they coordinate themselves to solve problems. How the trust has been built between the Project members. How the C/P participated in the Project and took initiative.	Progress reports Experts, C/P Experts, C/P	Document review Questionnaire, Questionnaire, Interviews
Communication	Did the Japanese partner organizations (JICA PNG Office and Headquarters) support the project well? Was the communication good?	Frequency, style and content of communication. How they reacted to the change of the plan.	Experts, C/P, JICA PNG Office, JICA HQ	Questionnaire, Interviews
Harmonship	Does the Project communicate well with other concerned agencies, officials and members of the pilot communities, if any? Do the PNG project members take proactive participation in the Project activities?	Frequency, style and content of communication. How they reacted to the change of the plan.	Experts, C/P PNG related organizations	Questionnaire, Interviews
Others	Is there any challenge in the process of project implementation?	Level of participation in project activities, frequency, style and contents of participation Issues that came up in the process of Project implementation. Causes and solutions.	Progress reports, Experts, C/P Progress reports Experts, C/P	Document review Questionnaire, Interviews Document review Questionnaire, Interviews

Five Evaluation Criteria

1. RELEVANCE

Topics	Questions	Information/data to be collected	Information sources	Means
Needs	Are the Project Purpose and the Overall Goal relevant to the needs of PNG? Are the Project Purpose and the Overall Goal relevant to the needs of the target groups/beneficiaries?	Problems and challenges identified for community development in PNG Needs of the target groups/beneficiaries	Related documents DFCD, Provincial government Related documents Experts, C/P	Document review Questionnaire, Document review Questionnaire, Interviews
Priority	Is the Project relevant with the development policy of PNG?	National development policy in PNG	Related national policy documents DFCD, Provincial government	Document review
	Is the Project relevant to the Japan's country assistance policy for PNG?	Japan's development assistance policy (ODA charter, etc.), JICA's assistance policy for PNG and priority areas.	Documents of MOFA of Japan, JICA	Document review
Appropriateness	Has the Project taken up a good strategy to tackle challenges identified for community development in PNG? (i.e. approach, selection of the target areas) Does Japan has comparative advantage in this technical area?	How the accumulated know-how in PNG and Japan has been utilized. Whether the Project applied methods and techniques that JICA's assistance in similar areas.	Project reports Experts, C/P JICA documents	Document review Questionnaire, Interviews Document review Questionnaire, Interviews
Others	Are there any major changes in the environment of the Project (political, economic and social conditions) since the Project started?	Information on change of political, economic and social conditions.	Progress reports Experts, C/P	Document review Questionnaire, Interviews

2. EFFECTIVENESS

Topics	Questions	Information/data to be collected	Information sources	Means
Achievement of the Project Purpose	To what extent has the Project Purpose been achieved? Is it likely that the Project Purpose will be achieved by the end of the Project? Are there any factors that particularly contributed to achievement of the Project Purpose? Are there any factors that particularly impeded achievement of the Project Purpose?	See the same topic in PERFORMANCE section Contributing factors Impeding factors	See the same topic in PERFORMANCE section Progress reports Experts, C/P Progress reports Experts, C/P	See the same topic in PERFORMANCE section Document review Questionnaire, Interviews Document review Questionnaire, Interviews

Handwritten signature

Handwritten signature

Evaluation Grid

Mid-Term Review of the Integrated Community Development Project

Causality	<p>Are the 5 important assumptions from Outputs to Project Purpose secured? If not, how did the Project approach the issues? If not, how did the Project approach the issues? "Political restructuring that influences the local governance system (e.g. a change from the present 3-tier system to 2-tier system) does not negatively impact on the Project activities", "The political commitment of NCDC and Provincial Government to the Project is secured and maintained", "Transfers of counterpart personnel does not significantly influence the implementation process of the Project", "Natural disasters and man-made disasters such as tribal fights in the Project target areas do not take place", "National, provincial and district level government funding to support CLDC F/P is maintained at an appropriate level"</p>	Current situation of the Important Assumptions	Progress reports Experts, C/P	Document review Questionnaire, interviews
-----------	--	--	----------------------------------	---

3. EFFICIENCY

Topics	Questions	Information/data to be collected	Information sources	Means
Input	<p>Are the PNG and Japanese inputs appropriate in terms of quality, quantity and timing? Are the equipment actively utilized?</p>	<p>Record of input Condition and state of utilization of equipment (record of experiments etc.)</p>	<p>Progress reports Experts, C/P Experts, C/P Condition in the Project site</p>	<p>Document review Questionnaire, Interviews Document review Questionnaire, Interviews, Site inspection See the same topic in PERFORMANCE</p>
Achievement of Outputs	<p>To what extent have the six Outputs been achieved?</p>	<p>See the same topic in PERFORMANCE section</p>	<p>See the same topic in PERFORMANCE section</p>	<p>Document review Questionnaire, Document review Questionnaire, Interviews</p>
Causality	<p>Have the "inputs", together with "Activities", been sufficient for the achievement of the "Outputs"? Are there any factors that particularly contributed to achievement of the Project Outputs? Are there any factors that particularly impeded achievement of the Project Outputs?</p>	<p>Record of Activities and achievement of the Outputs Contributing factors Impeding factors</p>	<p>Progress reports Experts, C/P Progress reports Experts, C/P Progress reports Experts, C/P</p>	<p>Document review Questionnaire, Document review Questionnaire, Document review Questionnaire, Interviews</p>

4. IMPACT

Topics	Questions	Information/data to be collected	Information sources	Means
Achievement of the Overall Goal	<p>Within a few years after the completion of the Project, is the Overall Goal likely to be achieved?</p>	<p>See the same topic in PERFORMANCE section</p>	<p>See the same topic in PERFORMANCE section</p>	<p>See the same topic in PERFORMANCE section Questionnaire, Interviews, Document review</p>
Causality	<p>Is the important assumptions from Project Purpose to Overall Goal likely to be secured? If not, how can the Project approach the issues? "The concept of community development as contained in ICD Policy remains constant"</p>	<p>Current situation of the Important Assumptions</p>	<p>Progress reports Experts, C/P</p>	<p>Questionnaire, Document review</p>

Impact	Are there any positive impacts of the Project, which were not fully anticipated?	Examples	Experts, C/P	Questionnaire, Interviews
	Are there any negative impacts of the Project, which were not fully anticipated?	Examples	Experts, C/P	Questionnaire, Interviews

5. SUSTAINABILITY

Topics	Questions	Information/data to be collected	Information sources	Means
Policy aspect	Will the policy directions for the community development be maintained by the PNG government after the end of the Project?	Policy and strategy of the PNG government	DFCD, Provincial government Experts, C/P	Questionnaire, Interviews
Institutional and financial aspect	Is there any institutional mechanism in the relevant authorities (DFCD, Provincial government, etc.) to continue and expand Project activities? Will the budget be appropriately secured for roll-out of community development activities?	Staffing and restructuring plan, working plan Budget allocation to community development	DFCD, Provincial government, CLDC F/P Experts, C/P DFCD, Provincial government, CLDC F/P Experts, C/P	Questionnaire, Interviews Questionnaire, Interviews
Technical aspect	Does the relevant authorities (DFCD, Provincial government, etc.) have technical capacities (techniques/skills/know-how) to fully maintain effects of the Project by continuing and enhance activities after the Project? Are the equipment provided by the Project actively utilized and maintained? Will they be they utilized after the end of the Project with proper planning and budget?	Achievement level of technology transfer, guidelines and manuals developed by the Project. Condition of equipment, operation and maintenance plan	Progress reports, Project documents Experts, C/P Progress reports, Project documents Experts, C/P	Document review, Questionnaire, Interviews Document review, Questionnaire, Interviews

ANNEX-4 Project Design Matrix

Project Design Matrix (PDM)
 Project Title: Integrated Community Development Project
 Target Group: DFCD, CLDC Focal Points, NCDC, Selected Provincial Government
 Period of Project: March 2009 to March 2012

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<p>Overall Goal: Community development in PNG is promoted based on the Integrated Community Development Policy.</p>	<ol style="list-style-type: none"> The average number of CLDCs supported by CLDC F/P increases. CLDC F/P are established in other Districts and Provinces. 	Reports by CLDC F/P DFCD Reports (quarterly, six month, annual reports)	
<p>Project Propose: Human resources, organizational capacity and structures, which are required for promoting sustainable community development based on ICD Policy, are strengthened.</p>	<ol style="list-style-type: none"> All key personnel at the National, Provincial and District levels, who are involved in the Project activities, demonstrate their improved understanding and commitment to ICD Policy implementation. The amount of resources channeled through CLDC F/P increases in the Project activity areas. Both DFCD and the NCDC, Provincial and District Governments secured and disbursed appropriate budget to CLDC F/Ps annually from 2009 to 2011. 	Interviews, questionnaire survey Reports from CLDC F/P and the Province Budget document submitted by CLDC F/P and the Province	The concept of community development as contained in ICD Policy remains constant.
<p>Outputs:</p> <ol style="list-style-type: none"> Organizational structure and their functions are strengthened for ICD Policy implementation. Capacity of DFCD for implementing sustainable community development activities based on ICD Policy implementation is strengthened. Capacity of CLDC Focal Points and community groups for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened. Capacity of the National Capital District Commission (NCDC) and a selected Provincial Government for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened. Guidelines for implementing sustainable community development based on ICD Policy are improved and expanded. 	<ol style="list-style-type: none"> The number of regular meetings of committees under operational management strategies at all levels including National, Provincial, and District and CLDC levels. No. of CLDC activities monitored by DFCD Liaison Officers in the Project activity areas increases. The number of Focal Project Coordinators and CDOs received the training from DFCD based on training manual developed under the project. The average number of CLDCs facilitated by CLDC F/Ps in the Project-targeted areas increases. CLDC F/Ps mobilize greater range of stakeholders that support its operation. Provincial and District budget for community development through CLDC Focal Point activities increases. No. of technical support of NCD and Provincial Government to CLDC F/P increases. The number of Guidelines endorsed by DFCD for further CLDC focal Point roll-out. 	TORs and Meeting minutes Interviews Training reports and training materials Reports by CLDC F/P Reports by CLDC F/P Interviews Reports by CLDC F/P Questionnaire survey	

<p>6. Experiences of the CLDC F/Ps supported under the Project feeds into the ICD Policy roll-out process.</p> <p>Activities:</p> <p>1. Organizational structure and their functions are strengthened for ICD Policy</p> <p>1.1 JIC reviews existing project implementation and monitoring mechanisms such as Advisory and Implementation Committees, including the TORs.</p> <p>1.2 JIC clarifies the roles of DFCD, NCDC and Provincial Government in implementation of the project activities</p> <p>1.3 DFCD, NCDC and the Provincial Government examine the necessity of establishing the new project implementation and monitoring mechanisms.</p> <p>1.4 JIC take steps to build partnership with other Government departments, political leaders, NGOs and civil society organizations and the private sectors.</p> <p>1.5 JIC develops the monitoring and evaluation strategy of CLDC F/P activities including reporting mechanisms.</p> <p>2. Capacity of DFCD for implementing sustainable community development activities based on ICD Policy implementation is strengthened.</p> <p>2.1 DFCD conducts SWOT analysis of the organization, with a view to implement the ICD policy.</p> <p>2.2 DFCD implements relevant training activities, such as M&E, PCM conflict resolution, community mobilization and PRA for its officers, based on training needs assessment.</p> <p>2.3 DFCD develops a training manual for training of the CLDC Focal Point Coordinators and the District-level Management Committee.</p> <p>2.4 DFCD monitors and evaluates the implementation process of the pilot project activities, based on the strategies developed by JIC.</p> <p>3. Capacity of CLDC Focal Points and community groups for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened.</p> <p>3.1 DFCD, NCDC/Provincial Government, and the CLDC F/P undertakes awareness raising activities at the Provincial, District and the community levels on the CLDC concept.</p> <p>3.2 CLDC F/P Coordinator, in consultation with DFCD, prepares a list of services CLDC F/P could offer to the community groups.</p> <p>3.3 CLDC Focal Point Coordinator develops the list of partners who may support the work of the CLDC F/P, including the community resource list.</p> <p>3.4 JIC selects pilot activity based on agreed criteria.</p> <p>3.5 CLDC Focal Point Coordinator conducts the baseline survey in the pilot project areas facilitated by JIC.</p> <p>3.6 CLDC Focal Point Coordinator analyses the community needs for CLDC F/P facilitated by JIC.</p> <p>3.7 CLDC Focal Point Coordinator and the community group(s) develop the pilot activity plans facilitated by JIC.</p>	<p>Guidelines, brochures and tool kits developed under the Project are used for CLDC F/P roll-out in other Provinces.</p> <p>Innputs by Japanese Side: (1) Experts in the following fields: 1. Chief advisor/ Community development 2. Coordinator 3. Organizational management/institutional capacity building 4. Training planning/Management 5. PCM/Pilot activity planning 6. Monitoring and evaluation 7. Others, if necessary</p> <p>(2) Equipment Equipment necessary for the Project implementation such as office equipment</p> <p>(3) Training Training of PNG counterpart personnel in Japan and/or other country (5 participants/year)</p>	<p>Innputs by PNG Side: (1) Counterpart personnel (2) Land and facilities - office facilities, office space, telephones (3) Operation and administration cost (accommodation, travel) (4) Transportation (vehicles) (5) Physical infrastructures development and improvement for pilot activities</p> <p>Preconditions: Proper MOAs in place between DFCD and the concerned NCDC and Provincial authorities.</p>	<p>ICD Policy-related documents produced by DFCD</p>
---	---	--	--

- 3.8 CLDC Focal Point Coordinator and the community group(s) implement the pilot activities facilitated by JIC.
- 3.9 CLDC Focal Point Coordinator and the community group(s) monitor and evaluate the pilot activities, based on the strategies developed by JIC.
4. Capacity of the National Capital District Commission (NCDC) and a selected Provincial Government for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened.
- 4.1 NCDC and the Provincial Government analyze the needs of the CLDC Focal Points for external support.
- 4.2 NCDC and the Provincial Government provide the necessary technical support for CLDC F/P.
- 4.3 NCDC and the Provincial Government mobilize necessary resources for pilot activities implementation.
- 4.4 JIC implements relevant training activities, such as M&E, PCM, conflict resolution, community mobilization and PRA for the NCDC and the Provincial Government staff, based on training needs assessment.
- 4.5 NCDC and the Provincial Government monitor and evaluate the implementation process of the pilot activities and identify the lessons learned, based on the strategies developed by JIC.
5. Guidelines for implementing sustainable community development based on ICD Policy are improved and expanded.
- 5.1 JIC reviews the existing guidelines and manuals and evaluates the outcome of the CLDC F/P support in the Project activity area.
- 5.2 JIC conduct research on the status of CLDC Focal Point activities and documents the identified good practices.
- 5.3 JIC identifies the lessons learned from implementation process of the CLDC F/P support in the Project activity area.
- 5.4 JIC uses the guidelines in the process of Project implementation and revises them as necessary.
- 5.5 JIC organizes a workshop to seek feedback from relevant Provincial and District level personnel for finalization of the Guidelines and manuals.
6. Experiences of the CLDC F/Ps supported under the Project feeds into the ICD Policy roll-out process.
- 6.1 JIC develops brochures to guide the work of CLDC F/Ps.
- 6.2 JIC develops conducts a workshop for disseminating the achievements of the Project-supported CLDC F/Ps.

HP

MT

Annex-5 Updated version of Project Design Matrix

Project Design Matrix (PDM)
 Project Title: Integrated Community Development Project
 Target Group: Department for Community Development (DFCD), Community Learning and Development Center (CLDC) Focal Points (F/Ps),
 National Capital District Commission (NCDC), East Sepik Provincial Administration (ESPA)
 Period of Project: March 2009 to March 2012

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<p>Overall Goal: Community development in PNG is promoted based on the Integrated Community Development Policy (ICD Policy).</p>	<p>1. Level of roll-out and coverage of ICD Policy</p>	<p>Documents, Interviews</p>	
<p>Project Propose: Human resources, organizational capacity and structures, which are required for promoting sustainable community development based on ICD Policy, are strengthened.</p>	<p>1. All key personnel at the National, Provincial and District levels, who are involved in the Project activities, demonstrate their improved understanding and commitment to ICD Policy implementation. 2. Resources channeled through CLDC F/Ps increase in the Project activity areas. 3. DFCD, NCDC/ESPA and District Administration secure and disburse appropriate budget to community development in line with ICD Policy.</p>	<p>Interviews, questionnaire survey Reports by CLDC F/P, Interviews Budget documents, Interviews</p>	<p>The concept of community development as contained in ICD Policy remains constant.</p>
<p>Outputs:</p> <p>1. Organizational structure and their functions are strengthened for ICD Policy implementation.</p> <p>2. Capacity of DFCD for implementing sustainable community development activities based on ICD Policy implementation is strengthened.</p> <p>3. Capacity of CLDC F/Ps and community groups at pilot sites for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened.</p>	<p>1.1 JIC meetings are regularly held. 1.2 NICDAC, PICDAC and DICDAC meetings are regularly held. 2.1 The number of DFCD staff who has experiences as a trainer at PCM workshops/training courses. 2.2 The number of PCM workshops/training courses organized by DFCD. 3.1 Level of contribution by community groups at pilot sites is improved. 3.2 The number of PCM workshops facilitated by Focal Point Coordinators</p>	<p>Record of meetings Record of meetings Project records Project records Reports by CLDC F/P, Interviews Reports by CLDC F/P, Interviews</p>	

FE

MT

<p>4. Capacity of NCDC and ESPA for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened.</p> <p>5. ICD Policy roll-out process is improved by integrating the experiences of pilot activities.</p> <p>6. ICD Policy/approach is recognized by stakeholders.</p>	<p>3.3 Information on development resources and communities are accumulated at CLDC F/Ps.</p> <p>4.1 The number of NCDC/ESPA staff who has experiences as a facilitator at PCM workshops.</p> <p>4.2 NCDC/ESPA increase its support to communities through CLDC Focal Points.</p> <p>5. Appropriate selection process of target areas for pilot activities.</p> <p>6.1 Preparation of publicity materials.</p> <p>6.2 Opportunities created for information dissemination such as workshops, presentation and distribution materials.</p> <p>6.3 Level of cooperation for ICD Policy by people in the pilot sites and other stakeholders.</p>	<p>Reports by CLDC F/P, Interviews</p> <p>Reports by NCDC/ESPA, Interviews</p> <p>Reports by NCDC/ESPA, Interviews</p> <p>Documents/materials</p> <p>Documents/materials</p> <p>Reports, Interviews</p> <p>Reports, Interviews</p>
<p>1. Organizational structure and their functions are strengthened for ICD Policy implementation.</p> <p>1.1 Joint Implementation Committee (JIC) reviews ICD roll-out process and clarifies the problems.</p> <p>1.2 JIC clarifies the roles of DFCD, NCDC and ESPA in implementation of the project activities.</p> <p>1.3 DFCD, NCDC and ESPA examine the necessity of establishing a project implementation and monitoring mechanism.</p> <p>1.4 JIC takes steps to build partnership with other Government departments, political leaders, NGOs and civil society organizations and the private sectors.</p> <p>1.5 DFCD develops the mechanism to monitor and evaluate pilot activities of CLDC F/Ps, NCDC and ESPA.</p> <p>2. Capacity of DFCD for implementing sustainable community development activities based on ICD Policy implementation is strengthened.</p> <p>2.1 DFCD conducts SWOT analysis of the organization, with a view to implement the ICD policy.</p>	<p>Inputs by Japanese Side: (1) Experts in the following fields: 1. Chief advisor/ Community development 2. Coordinator 3. Organizational management/Institutional capacity building 4. Training planning/Management 5. PCM/Pilot activity planning 6. Monitoring and evaluation 7. Others, if necessary (2) Equipment Equipment necessary for the Project implementation such as office equipment (3) Training Training of PNG counterpart personnel in Japan and/or other country (5 participants/year)</p>	<p>Inputs by PNG Side: (1) Counterpart personnel (2) Land and facilities - office facilities, office space, telephones (3) Operation and administration cost (accommodation, travel) (4) Transportation (vehicles) (5) Physical infrastructures development and improvement for pilot activities</p>
<p>Preconditions: Proper MOAs in place between DFCD and the concerned NCDC and Provincial authorities.</p>		

- 2.2 DFCD implements relevant training activities for its officers, based on training needs assessment.
- 2.3 DFCD develops a training manual for training of the CLDC F/P Coordinators and the District administration.
- 2.4 DFCD monitors and evaluates the implementation process of the pilot activities, based on the mechanism mentioned in 1.5.
- 2.5 DFCD develops ICD Policy roll-out strategy and integrates it into DFCD's regular operation.
- 2.6 DFCD improves its organizational structure for ICD Policy roll-out.
3. Capacity of CLDC Focal Points and community groups at pilot sites for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened.
 - 3.1 JIC provides trainings to CLDC F/P coordinators on participatory development methods and OJT required for pilot activity implementation.
 - 3.2 CLDC F/P raises awareness of the communities at pilot sites for ICD Policy.
 - 3.3 CLDC F/P collects and disseminates information on programs and organizations supporting community development.
 - 3.4 CLDC F/P collects and disseminates information on community profile in the District.
4. Capacity of the National Capital District Commission (NCDC) and East Sepik Provincial Administration (ESPA) for implementing sustainable community development based on ICD Policy is strengthened.
 - 4.1 NCDC and ESPA implement relevant training activities for its officers, based on training needs assessment.
 - 4.2 NCDC and ESPA collect and disseminates information on programs supporting community development.
 - 4.3 NCDC and ESPA collect and disseminates information on community profile in NCDC/ESPA.
 - 4.4 NCDC and ESPA develop strategy for community development in line with ICD Policy.

AD

MT

5. ICD Policy roll-out process is improved by integrating the experiences of pilot activities.
 - 5.1 JIC and CLDC F/P coordinator select target areas for pilot activity implementation in a fair and transparent manner.
 - 5.2 JIC and CLDC F/P capture and analyze existing condition of the target areas.
 - 5.3 JIC and CLDC F/P facilitate communities in formulating pilot activity plan.
 - 5.4 JIC and CLDC F/P facilitate communities in implementing and managing pilot activities.
 - 5.5 JIC and CLDC F/P monitor and evaluate pilot activities with participation of communities in target areas.
 - 5.6 JIC and CLDC F/P identify good practices and lessons learned from implementation process of the pilot activities.
 - 5.7 JIC and CLDC F/P develop a guideline for ICD Policy roll-out based on activities 5.1 to 5.6
6. ICD Policy/approach is recognized by stakeholders.
 - 6.1 JIC and CLDC F/P prepare various presentation materials on ICD Policy applying different media such as newsletter, pamphlet and audio-visual materials.
 - 6.2 JIC and CLDC F/P disseminate information on ICD Policy to people and related organizations, utilizing the guideline, the presentation materials and other methods such as workshops, seminars and conferences.

実績

評価項目	評価設問	必要データ	情報源	データ入手手段
投入	PNG側投入は計画通りであったか(C/P、オフィス、設備等)。	投入記録	プロジェクト報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
	日本側投入は計画通りであったか(専門家派遣、C/P研修、機材供与、ローカルコスト負担)。	投入記録	プロジェクト報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
成果の達成度	どの程度成果1を達成しているか。 "ICD政策実施のための組織・仕組みが強化される。"	指標1. 国、州、郡、CLDCのそれぞれのレベルにおいて、CLDC F/Pを通じた事業の実施管理・モニタリングのための各種委員会が定期的に開催され、共有する情報が増加する。	進捗報告書、TOR、会合議事録 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
	どの程度成果2を達成しているか。 "ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのDFCDの能力が向上する。"	指標2. DFCD担当官によるモニタリングに基づいたCLDC活動の数が増加する。	プロジェクト報告書 専門家、C/P	文献調査、インタビュー
	どの程度成果3を達成しているか。 "ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのCLDC F/Pおよびコミュニティ・グループの能力が向上する。"	指標3.1 プロジェクトで開発されたトレーニング・マニュアルを使いDFCDが実施したトレーニングに参加したF/Pコーディネーター、コミュニティ開発官の数。	プロジェクト報告書、研修マニュアル 専門家、C/P	文献調査、インタビュー
		3.2 プロジェクト実施地域において、CLDC F/PIによるサポートを受けたCLDCの平均数が増加する。	プロジェクト報告書 専門家、C/P	文献調査、インタビュー
		指標3.3 CLDC F/Pが、その活動のサポートをしてくれる、より広い範囲のステークホルダーを動員する。	プロジェクト報告書 専門家、C/P	文献調査、インタビュー
	どの程度成果4を達成しているか。 "ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのNCDC、東セピック州政府の能力が向上する。"	指標4.1 CLDC F/Pを通じたコミュニティ開発活動のための州と郡の予算が増加する。	プロジェクト報告書 専門家、C/P	文献調査、インタビュー
		指標4.2 NCDC及びESPAによるCLDC F/Pへの技術的支援の回数が増加する。	プロジェクト報告書 専門家、C/P	文献調査、インタビュー
	どの程度成果5を達成しているか。 "持続的コミュニティ開発を実施するためのガイドラインが改善される。"	指標5. CLDC F/P展開の過程で、DFCDの承認するガイドラインの数。..	プロジェクト報告書、ガイドライン 専門家、C/P	文献調査、インタビュー
どの程度成果6を達成しているか。 "持続的コミュニティ開発を実施するためのガイドラインが改善される。"	指標6. プロジェクトで作成されたガイドライン、パンフレット、ツール・キットなどが、DFCDIによる他州へのCLDC F/P展開過程で使用される。	プロジェクト報告書、ガイドライン、ブローシャ、ツールキット 専門家、C/P	文献調査、インタビュー	
プロジェクト目標達成度	どの程度プロジェクト目標を達成しているか。終了時までには達成できる見込か。 "ICD政策に基づいた、持続的コミュニティ開発を推進するために必要な人材、組織、体制が強化される。"	指標1 .国、州、郡それぞれのレベルにおいて、プロジェクトに携わる主要な人材が、ICD 政策への理解と関与を深めていることを実際に示す。	プロジェクト報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
		指標 2. プロジェクト対象地域において、ICD実施政策のためにCLDC F/Pを通じて動員されるリソースが増加する。	プロジェクト報告書 専門家、C/P	文献調査、インタビュー
		指標3.DFCD、NDCD、州政府及び郡政府のCLDC F/PIに対する予算が2009年から2011年にかけて毎年確保され、実行される。	CLDC F/Pおよび州予算書類 プロジェクト報告書 専門家、C/P	文献調査、インタビュー

上位目標達成見込み	プロジェクト終了後数年以内に上位目標は達成させられる見込みか。 "PNGでICD政策に基づいたコミュニティ開発が促進される。"	指標1. CLDC F/PによってサポートされているCLDCの数が増加する。	CLDC F/P報告書	文献調査、インタビュー
		指標2. CLDC F/P がプロジェクト対象地域以外の州や郡で設立される。	DFCD報告書	文献調査、インタビュー

実施プロセス

評価項目	評価設問	必要データ	情報源	データ入手手段
活動	プロジェクト活動は計画通り実施されたか。	プロジェクト活動進捗状況	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
技術移転	技術移転方法・アプローチは適切か。 技術移転の過程で問題は生じたか。	技術移転方法・アプローチ 専門家、C/Pの評価	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
モニタリング	モニタリングはどのように行われているか。 モニタリング結果がプロジェクト活動に反映しているか。	モニタリングの実施状況	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、
コミュニケーション	専門家とC/Pのコミュニケーションは良好か。	コミュニケーションの手段、頻度 計画変更への対応と信頼関係の醸成状況 C/Pの主体性、プロジェクト参加状況	専門家、C/P	質問票、インタビュー
	JICA事務所、本部はプロジェクトを支援しているか。 JICA事務所、本部との関係は良好か。	コミュニケーションの手段、頻度、内容 計画変更への対応	専門家、C/P JICA PNG事務所、JICA 本部	質問票、インタビュー
	プロジェクトと他の関連機関、関係者、パイロット地区住民とのコミュニケーションは良好か。	コミュニケーションの手段、頻度、内容 計画変更への対応	専門家、C/P PNG関連組織	質問票、インタビュー
オーナーシップ	PNG側は活動に積極的に参加しているか。	活動参加のレベル(頻度、方法等)	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
その他	実施プロセスに何らかの問題はあるか。	問題とその解決手段	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー

評価5項目

1. 妥当性

評価項目	評価設問	必要データ	情報源	データ入手手段
ニーズ	プロジェクト目標と上位目標はPNGのニーズに整合しているか。	PNGにおけるコミュニティ開発の現状	関連文書 DFCD, 州政府	文献調査、質問票
	プロジェクト目標と上位目標はターゲットグループ・被益者のニーズに整合しているか。	ターゲットグループ・被益者のニーズ	関連文書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
優先度	プロジェクトはPNGの開発政策に整合しているか。	国家開発政策	関連政策文書 DFCD, 州政府	文献調査、インタビュー
	プロジェクトは日本の対PNG援助方針に整合しているか。	日本の対PNG援助政策・方針、重点分野 JICAの対PNG協力方針、重点分野	日本外務省文書、JICA文書	文献調査
適切性	プロジェクトはPNGコミュニティ開発の問題に取り組むために適切な戦略を持っているか(アプローチ、対象地区の適切性等)。	PNGと日本で蓄積されたノウハウの活用度 PNGの状況に応じた手段・方法論の適用度	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
	日本はコミュニティ開発分野への協力を優位性があるか。	類似分野へのJICA協力	JICA文書	文献調査
その他	プロジェクト開始後、プロジェクトを取り巻く環境(政治、経済、社会情勢)に大きな変化が生じたか。	政治、経済、社会情勢に関する情報	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー

2. 有効性

評価項目	評価設問	必要データ	情報源	データ入手手段
プロジェクト目標達成度	どの程度プロジェクト目標を達成しているか。終了時までには達成できる見込か。	実績の「プロジェクト目標達成度」と同じ	実績の「プロジェクト目標達成度」と同じ	実績の「プロジェクト目標達成度」と同じ
因果関係	プロジェクト目標達成に特に貢献した要因は何か。	貢献要因	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
	プロジェクト目標達成を特に阻害した要因は何か。	阻害要因	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
	5つの外部条件は確保されているか。もし確保されていないなら、どのような対策を取ったか。 "地方行政制度の変更(3層から2層へ)がプロジェクト活動に悪影響を及ぼさない", "NCDCとESPAのプロジェクトへの関与が確保、維持される", "カウンターパートスタッフの人事異動がプロジェクト実施に大きな影響を与えない", "プロジェクト対象地域において自然災害や人的災害(部族抗争等)が発生しない", "国・州・郡それぞれのレベルにおいてCLDC F/PIに対する予算配分が現状を維持する"	外部条件の現況	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー

3. 効率性

評価項目	評価設問	必要データ	情報源	データ入手手段
投入の適切性	PNGと日本の日本の投入の質、量、タイミングは適切であるか。	投入記録	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
	機材は適切に使用されているか。	機材の状態と活用状況	専門家、C/P 機材の現況	文献調査、質問票、インタビュー、実地調査
成果の実績	どの程度6つの成果を達成しているか。	実績の「成果の達成度」と同じ	実績の「成果の達成度」と同じ	実績の「成果の達成度」と同じ
因果関係	成果の達成のために、投入は活動と合わせ、適切であったか。	投入記録 活動進捗状況	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
	成果達成に特に貢献した要因は何か。	貢献要因	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
	成果達成を特に阻害した要因は何か	阻害要因	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー

4. インパクト

評価項目	評価設問	必要データ	情報源	データ入手手段
上位目標達成見込み	プロジェクト終了後数年以内に上位目標は達成させられる見込みか。	実績の「上位目標達成見込み」と同じ	実績の「上位目標達成見込み」と同じ	実績の「上位目標達成見込み」と同じ
因果関係	プロジェクト目標から上位目標への外部条件は確保される見込みか。もし確保されないならどのように対応するか。 "ICD政策に記載されたコミュニティ開発の概念が変わらない。"	外部条件の現況	進捗報告書 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
インパクト	プロジェクト実施により、予期されていなかった何らかのプラスのインパクトが生じたか。	事例	専門家、C/P	質問票、インタビュー
	プロジェクト実施により、予期されていなかった何らかのマイナスのインパクトが生じたか。	事例	専門家、C/P	質問票、インタビュー

5. 自立発展性

評価項目	評価設問	必要データ	情報源	データ入手手段
政策面	プロジェクト終了後もPNG政府のコミュニティ開発政策の方向性は維持されるか。	PNG政府の政策と戦略方針	DFCD、州政府 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
制度・財務面	プロジェクト活動を維持・拡大するための制度的メカニズムは関連組織(DFCD、州政府、郡政府等)に存在するか。	人事・組織計画、運営計画	DFCD、州政府、CLDC F/P 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
	コミュニティ開発活動展開のための予算は十分に確保されるか。	コミュニティ開発予算	DFCD、州政府、CLDC F/P 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
技術面	プロジェクト活動を維持・拡大するための技術的能力(技能、スキル、ノウハウ)は関連組織(DFCD、州政府、郡政府等)に存在するか。	技術移転の達成レベル プロジェクトが作成したガイドライン、マニュアル	進捗報告書、関連資料 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー
	プロジェクトで提供された機材は適切に使用、維持管理されているか。 機材はプロジェクト終了後も適切な計画と予算に基づき活用されるか。	機材の現況と維持管理計画	進捗報告書、関連資料 専門家、C/P	文献調査、質問票、インタビュー

パプアニューギニア国「総合コミュニティ開発プロジェクト」中間レビュー調査

専門家氏名:

担当業務:

0. 実施プロセス (IMPLEMENTATION PROCESS)

大質問		小質問	1	2	3	4	理由・コメント
0.1 活動実施状況	0.1.1	プロジェクト開始からこれまでに於ける担当分野の活動は計画通り順調でしたか？	全く計画通りではなかった	あまり計画通りではなかった	ほぼ計画通り	計画通り	
	0.1.2	計画通りでなかった場合、その理由をお答えください。	理由				
0.2 技術移転	0.2.1	担当分野のC/Pへの技術移転は適切に行なわれていますか。問題への対応策や改善方法がありましたらお答えください。	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	対応策・改善策
	0.2.2	プロジェクト活動を通じて、C/Pの意識・行動に変化が見られましたか？	悪い変化があった	特に変化はない	良い変化があった	変化内容	
0.3 PNG側のオーナーシップ、認識	0.3.1	PNG側はプロジェクト運営全般にあたり、イニシアティブをとっていると思いますか？	全くとっていない	あまりとっていない	かなりとっている	非常にとっている	説明
	0.3.2	担当分野のC/Pはプロジェクトに積極的に参加していますか？	している	していない	説明		
0.4 プロジェクト内のコミュニケーションのあり方	0.4.1	C/Pとのコミュニケーションは良好ですか？改善したほうがよいとおもわれることがありましたら、ご説明ください。	全く良好でない	あまり良好でない	ほぼ良好	大変良好	改善点
	0.4.2	日本人専門家間でのコミュニケーションは良好ですか？改善した方がよいと思われる点がありましたら、ご説明下さい。	全く良好でない	あまり良好でない	ほぼ良好	大変良好	改善点
0.5 日本側関係機関とのコミュニケーションのあり方	0.5.1	JICA-PNG事務所、及びJICA本部とのコミュニケーションは良好ですか？改善が望ましいと思われる点がありましたらお書きください。	全く良好でない	あまり良好でない	ほぼ良好	大変良好	改善点

パプアニューギニア国「総合コミュニティ開発プロジェクト」中間レビュー調査

評価5項目

1. 妥当性 (RELEVANCE) - プロジェクトの実施計画は妥当であったか？

大質問	小質問	1	2	3	4	理由・コメント
1.1 必要性	1.1.1 プロジェクト目標・上位目標は、PNG国および、プロジェクトのターゲットグループの現時点でのニーズに合致していると思いますか？	全く合致していない	あまり合致していない	ほぼ合致している	大変合致している	説明
1.2 手段の適切性	1.2.1 本プロジェクトの協力内容(今後の計画も含む)は、PNG国のコミュニティ開発を推進するうえで適切であると思いますか？	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	説明
	1.2.2 本プロジェクトの協力内容は、日本の技術の優位性(ノウハウ・経験)を十分に生かしていると思いますか？	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	説明
1.3 その他	1.3.1 プロジェクト開始以来、プロジェクトを取り巻く環境(政治、経済、社会他)の変化について気がついたことがありましたら、記載してください	コメント				

2. 有効性 (EFFECTIVENESS) - プロジェクトの実施により、期待される効果が発現したか？

大質問	小質問	1	2	3	4	理由・コメント
2.1 プロジェクト目標の達成予測	2.1.1 プロジェクト終了までに、プロジェクト目標「ICD政策に基づいた、持続的コミュニティ開発を推進するために必要な人材、組織、体制が強化される」は達成されると思いますか？	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	
	2.1.2 達成するのが困難と思われる場合、その理由は何ですか？	理由・コメント				
	2.1.3 目標達成に特に貢献している要因があるとしたら、それは何ですか？	内容				

パプアニューギニア国「総合コミュニティ開発プロジェクト」中間レビュー調査

3. 効率性 (EFFICIENCY) – プロジェクトは効率的に実施されたか？

大質問	小質問	1	2	3	4	理由・コメント
3.1 専門家の派遣	3.1.1 ご自身の、本プロジェクトにおける専門家としての派遣期間・タイミング・専門分野・担当分野は適切でしたか？	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	
	3.1.2 プロジェクト全体として、日本側専門家の人数・専門分野・担当分野・派遣期間・タイミングは適切でしたか？	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	
	3.1.3 専門家派遣について、改善すべき点はありますか？					
3.2 カウンターパート研修	3.2.1 カウンターパート研修の参加者の人選・人数・研修分野・研修コースの内容やレベル・期間・タイミングは適切でしたか？	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	
	3.2.2 カウンターパート研修に参加した研修員は、PNGに帰国後、研修で習得した知識や技術を職場で活用、普及していますか？事例などありましたら記載してください。	全く活用していない	あまり活用していない	ある程度活用している	大変活用している	活用、普及事例
	3.2.3 カウンターパート研修に関し、改善すべき点がありますか？					
3.3 機材供与	3.3.1 機材の選定(種類や仕様、台数、価格)は適切でしたか？ 適切ではなかった場合、どのように対処しましたか？	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	対処方法
	3.3.2 機材の供与のタイミングは適切でしたか？ 適切ではなかった場合、どのように対処しましたか？	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	対処方法
	3.3.3 供与された機材のうち、活用されていないものはありますか？その理由は何ですか？					
3.4 運営費(日本側)	3.4.1 プロジェクト運営費(日本側)の額や支給のタイミングは適切でしたか？	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	改善点
3.5 PNG側CPの配置	3.5.1 C/Pの人選・配置(人数、専門分野、立場、役割等)は適切でしたか？	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	
	3.5.2 C/Pの人選、配置等に関して、改善が望ましいことはありますか？					
3.6 PNG側の施設・機材の配備	3.6.1 プロジェクト事務所の施設環境はプロジェクト活動実施にとって良好ですか？	全く良好でない	あまり良好でない	ほぼ良好	大変良好	理由
	3.6.2 PNG側から適切な機材が提供されましたか？	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	理由
3.7 PNG側のプロジェクト運営費	3.7.1 プロジェクト運営費(PNG側)の額や支給のタイミングは適切でしたか？	全く適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切	大変適切	理由
3.8 プロジェクト運営管理体制	3.8.3 プロジェクトの運営管理体制は、プロジェクト活動推進のために効果的・効率的でしたか？	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	理由
	3.8.4 プロジェクト運営管理体制について、改善すべき点があればお書きください。					

パプアニューギニア国「総合コミュニティ開発プロジェクト」中間レビュー調査

4. インパクト (IMPACT) – プロジェクトによって上位目標達成が見込まれるか？波及効果はあったか？

大質問	小質問	1	2	3	4	理由・コメント
4.1 上位目標達成の見込み	4.1.1 上位目標「PNGでICD政策に基づいたコミュニティ開発が促進される」は、プロジェクト終了後数年以内に実現すると思いますか？理由は何ですか？	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	理由
	4.1.2 上位目標を達成するために特に重要な事項は何ですか？					
4.2 インパクト	4.2.1 プロジェクト実施による、想定されていなかったプラスのインパクトはありますか？					
	4.2.2 プロジェクト実施による、想定されていなかったマイナスのインパクトはありますか？					

5. 自立発展性 (SUSTAINABILITY) – プロジェクトの効果は、プロジェクト終了後も継続・発展していくか？

大質問	小質問	1	2	3	4	理由・コメント
5.1 政策面、組織面、財政面	5.1.1 コミュニティ開発に関するPNG政府の政策支援は、プロジェクト終了後も継続・拡大すると思いますか？	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	理由・コメント
	5.1.2 PNG側には、プロジェクト終了後も活動を継続・拡大するための組織能力(体制・人事・予算・施設機材)があると思いますか？	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	理由・コメント
5.2 技術面	5.2.1 プロジェクトが作成・開発した(あるいは今後作成・開発する)パンフレット、マニュアル、ガイドライン等は、プロジェクト終了後も継続して活用されていくと思いますか？	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	理由・コメント
	5.2.2 担当分野に関し、C/Pが、移転された技術・知識を他の職員や関連機関の職員等に普及していくメカニズムは形成されつつありますか？	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	理由・コメント
	5.2.3 プロジェクトで供与された機材を、PNG側は独自に維持管理できる技術レベルにありますか？	全くそう思わない	あまりそう思わない	ほぼそう思う	大変そう思う	理由・コメント

その他、本プロジェクト全般に関して、ご意見・コメントなどありましたら、自由にお書きください。ご協力ありがとうございました。

Name:

Title:

Task/Job Assignment in the Project:

0. IMPLEMENTATION PROCESS

Topics		Questions	1	2	3	4	Reasons/comments	
0.1. Activities in general	0.1.1	Have your Project activities/works made progress as planned so far?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all		
	0.1.2	Are there any factors that have particularly contributed to implementation of the Project activities?						
	0.1.3	Are there any factors that have particularly impeded implementation of the Project activities?						
0.2. Relation with Japanese experts (Transfer of technology, communication, etc	0.2.1	Have you found the methods/approaches of technology transfer (transfer of knowledge/knowhow/skills) from the Japanese Experts appropriate? Please give the reason of your answer.	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?	
	0.2.2	Do you think that your communication with Japanese Experts has been good enough through the Project? Please give the reason of your answer.	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?	

5-criteria Evaluation Questions

1. RELEVANCE- Is the Project relevant as a solution of the issue?

Topics		Questions	1	2	3	4	Reasons/comments
1.1 Needs	1.1.1	Do you think that the Project has been consistent with the needs of the beneficiaries, i.e. PNG staff for community development and residents of the community in the pilot site? Please give the reason of your answer.	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?

2. EFFECTIVENESS— Did the Project lead to the anticipated result?

Topics		Questions	1	2	3	4	Reasons/comments
2.1. Achievement of the Project Purpose	2.1.1	Do you think that the Project Purpose will be achieved by the end of the Project? (Project Purpose: "Human resources, organizational capacity and structures, which are required for promoting sustainable community development based on ICD Policy, are strengthened.") Please give the reason of your answer.	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?
	2.1.2	Do you think that your own capacity has been strengthened so far, to contributed to the achievement of the Project Purpose?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?

Mid-Term Review of the Integrated Community Development Project

3. EFFICIENCY — Was the Project implemented efficiently?

Topics	Questions	1	2	3	4	Reasons/comments
3.1 Japanese Experts	3.1.1 Do you think that your communication with Japanese Experts has been good enough through the Project?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?
	3.1.2 Do you think that the Japanese Experts meet the needs of the Project in terms of expertise, experience, duration of service, timing, etc?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?
	3.1.3 Do you think that the methods/approaches of technology transfer (transfer of knowledge/knowhow/skills) from the Japanese Experts appropriate?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?
3.2 Counterpart training	3.2.1 Did you participate in a counterpart training course in Japan?	No	Yes			
	3.2.2 (If you answered YES), did you find that the training course was appropriate in upgrading your capability?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?
	3.2.3 (If you answered YES), do you apply the skills and knowledge that you learned in the training course to the Project activities (or your work)?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	How?
	3.2.4 (If you answered YES), do you disseminate the skills and knowledge that you learned in the training course to your colleagues?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	How/why?
	3.2.5 Do you have any suggestion for improvement of the counterpart training?					
3.3 Provision of equipment	3.3.1 Was the selection of the equipment provided by Japan appropriate in terms of specifications, numbers and types, etc? If not, how did you solve the problem?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Measures taken
	3.3.2 Is the equipment fully utilized? If not, why? (specify the name of equipment)	No	Yes	Details		

4. IMPACT — Will the Overall Goal be achieved? Are there any impacts?

Topics	Questions	Reasons/comments				
4.1 Achievement of the Overall Goal	4.1.1 Do you think that the Overall Goal will be achieved within a few years after the completion of the Project? (Overall Goal: Community development in PNG is promoted based on the Integrated Community Development Policy.)	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?
4.2 Impacts	4.2.1 Have you found any positive impact/side effect of the Project that was not fully anticipated at the planning stage of the Project?					
	4.2.2 Have you found any negative impact/side effect of the Project that was not fully anticipated at the planning stage of the Project?					

5. SUSTAINABILITY — Is the achievement of the Project sustainable after the end of the Project?

Topics	Questions	1	2	3	4	Reasons/comments
5.1 Sustainability of Project	5.1.1 Do you think that the PNG side will be able to continue and expand Project outcomes/activities without Japan's further cooperation, after the completion of the Project ?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?.
	5.1.2 Do you think that you will have enough knowledge/skills in your task/assignment by the end of the Project, so that the activities will be properly conducted without Japanese Experts, after the completion of the Project?	Very much	To a fair extent	Not so much	Not at all	Why?.

Mid-Term Review of the Integrated Community Development Project

Thank you for your cooperation.
If you have comments on this Project, please write here.

The Mid-Term Review of the Integrated Community Development Project

Questionnaire for the Project Manager / Chief Advisor

Dear Sir/Madam,

This is a questionnaire for the mid-term review of "the Integrated Community Development Project", which started in March 2009. As one and half years have passed since the inception of the Project, we are now conducting a review study of the various aspects of the Project implementation, based on JICA Evaluation Guideline.

This questionnaire is expected to be responded by the representatives of the Project who are totally responsible for implementation of the Project, as their official views. Please provide answers in consultation with responsible persons/organizations for each item, either PNG staff or Japanese Experts, if appropriate.

Thank you for your cooperation.

JICA Mid-term Review Study Team

1. Questions about Relevance

- 1) If there are changes in policy on community development, either by the National or by Provincial Government, since the start of the Project, provide the outline of them.
- 2) If there are any other important changes of situation/environment surrounding the Project, elaborate them.

2. Questions about Effectiveness

- 1) If there are any factors which have been hindering or slowing down the Project implementation, explain about them with actions which have been taken.
- 2) Provide information on current situation of "Objectively Verifiable Indicators" of "Project Purpose", which are states in the PDM.

3. Questions about Efficiency

- 1) In general, is communication between Japanese Experts and PNG Counterpart Personnel (C/P) good and frequent enough?
- 2) Is equipment provided by the Japanese side for the Project activities properly installed and fully utilized?
- 3) Please illustrate the situation of job transfers and job turnover (leaving job) of the Project staff (counterpart personnel), with data, since the start of the Project
- 4) Has the Joint Implementation Committee (JIC), of Port Moresby and East Sepik, been functioning properly? If not, explain the detail.

- 5) Has the Joint Coordinating Committee (JCC) been functioning properly? Elaborate the effects of JCC's function (advices, direction, etc.) on the Project.
- 6) Provide information on current situation of "Objectively Verifiable Indicators" of "Outputs", which are states in the PDM.

4. Questions about Impact

- 1) Have there been any impacts/side effects of the Project, either positive or negative, which were not directly expected at the planning stage of the Project? Those impacts could be social, environmental, institutional, economical, political or technological.
- 2) Provide information on current situation of "Objectively Verifiable Indicators" of "Overall Goal", which are states in the PDM.

5. Questions about Sustainability

- 1) Please provide budget planning and expenditures for implementation of the Project since 2009.
- 2) Please provide budget planning and expenditures for implementation of the ICD Policy since 2009.
- 3) Please illustrate the situation of job transfers and job turnover (leaving job) of the Project staff (counterpart personnel), with data, since the start of the Project

プロジェクト・デザイン・マトリックス 改訂版

Project Design Matrix (PDM)

プロジェクトタイトル: 総合コミュニティ開発プロジェクト

ターゲットグループ: コミュニティ開発省 (DFCD)、コミュニティ学習開発センター・フォーカルポイント (CLDC F/P)、首都圏庁 (NCDC)、東セピック州政府 (ESPA)

プロジェクト実施期間: 2009年3月から2012年3月まで(3年間)

要約	指標	入手手段	外部条件
上位目標: PNGでICD政策に基づいたコミュニティ開発が促進される。	1. ICD政策の展開と区域のレベル。	関連書類、インタビュー	
プロジェクト目標: ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を推進するために必要な人材、組織、体制が強化される。	1. 国、州、郡それぞれのレベルにおいて、プロジェクトに携わる主要な人材が、ICD政策への理解と関与を深めていることを実際に示す。 2. プロジェクト対象地域において、CLDC F/Pを通じて動員されるリソースが増加する。 3. DFCD、NDCD、ESPA及び郡政府がICD政策に沿ったコミュニティ開発予算を確保し、執行する。	インタビュー、質問票調査 CLDC F/Pレポート、インタビュー 予算書類、インタビュー	ICD政策に記載されたコミュニティ開発の概念が変わらない。
成果: 1. ICD政策実施のための組織・機能が強化される。 2. ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのDFCDの能力が強化される。 3. ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのCLDC F/Pおよびパイロット地区住民の能力が強化される。 4. ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのNCDC、ESPAの能力が強化される。	1.1 JIC会合が定期的開催される。 1.2 NICDAC、PICDAC、DICDACの会合が定期的開催される。 2.1 PCMワークショップ・研修において講師を務めたDFCDスタッフの数。 2.2 DFCDによって開催されたPCMワークショップ・研修の数。 3.1 パイロット地区住民の貢献度が高くなる。 3.2 F/PコーディネーターによってファシリテートされたPCMワークショップの数。 3.3 開発リソースおよびコミュニティの情報がCLDC F/Pに蓄積される。 4.1 PCMワークショップにおいてファシリテーターを務めたNCDC/ESPAスタッフの数。	会合記録 会合記録 プロジェクト記録 プロジェクト記録 CLDC F/Pレポート、インタビュー CLDC F/Pレポート、インタビュー CLDC F/Pレポート、インタビュー NCDC/ESPAレポート、インタビュー	

<p>5. ICD政策展開のプロセスが、パイロット活動の経験を統合することにより改善される。</p> <p>6. ICD政策とそのアプローチがステークホルダーに認識される。</p>	<p>4.2 NCDC/ESPAがCLDC F/Pを通じてのコミュニティへの支援を増す。</p> <p>5. パイロット活動対象地区の適正な選定プロセス。</p> <p>6.1 広報資料の作成。</p> <p>6.2 ワークショップ、プレゼンテーション、広報資料等の情報提供の機会。</p> <p>6.3 パイロット地区住民および他のステークホルダーによるICD政策への協力のレベル。</p>	<p>NCDC/ESPAレポート、インタビュー 関連書類、資料 関連書類、成果物 レポート、インタビュー レポート、インタビュー</p>	
<p>活動:</p> <p>1. ICD政策実施のための組織・機能が強化される。</p> <p>1.1 合同実施委員会 (JIC)が、ICD展開プロセスをレビューし、問題を明らかにする。</p> <p>1.2 JICが、プロジェクト活動における DFCD、NCDC、ESPAのそれぞれの役割を明らかにする。</p> <p>1.3 DFCD、NCDC、ESPAが、プロジェクトの実施・モニタリング体制確立の必要性を検討する。</p> <p>1.4 JICが、他の省庁、政治家、NGO、市民組織、民間セクターとのパートナーシップを構築するための措置を取る。</p> <p>1.5 DFCDが、CLDC F/P、NCDC、ESPAによるパイロット活動をモニタリング・評価するメカニズムを構築する。</p> <p>2. ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのDFCDの能力が強化される。</p> <p>2.1 DFCDが、ICD政策実施の観点から組織(DFCD)のSWOT分析を行う。</p> <p>2.2 DFCDが、研修ニーズ調査に基づき、職員を対象とする研修活動を実施する。</p> <p>2.3 DFCDが、CLDC F/Pコーディネーターおよび郡政府職員を対象とする研修のマニュアルを作成する。</p> <p>2.4 DFCDが、1.5で構築されたメカニズムに基づいて、パイロット活動の実施プロセスをモニタリング・評価する。</p> <p>2.5 DFCDが、ICD政策展開戦略を策定し、DFCDの通常業務に反映させる。</p> <p>2.6 DFCDが、ICD政策展開に向けた組織構造に改善する。</p>	<p>日本側投入:</p> <p>(1) 専門家派遣</p> <p>1. 総括／コミュニティ開発</p> <p>2. 業務調整</p> <p>3. 組織管理／組織・制度開発</p> <p>4. 研修計画／管理</p> <p>5. PCM／パイロット活動計画</p> <p>6. モニタリング・評価</p> <p>7. その他の必要分野</p> <p>(2) 機材</p> <p>オフィス機器等プロジェクト実施に必要な機材</p> <p>(3) 研修</p> <p>PNG側 カウンターパートスタッフの本邦、第三国での研修(年間5名)</p>	<p>PNG側投入:</p> <p>(1) カウンターパートスタッフの配置</p> <p>(2) 土地、施設(事務所施設、電話)</p> <p>(3) 運営、管理費用(旅費、宿泊費)</p> <p>(4) 交通手段(車両)</p> <p>(5) パイロット活動のためのインフラ整備</p>	<p>前提条件:</p> <p>DFCDとNCDC/ESPAの間で、適切な合意書(MOA)が結ばれる。</p>

3. ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのCLDC F/Pおよびパイロット地区住民の能力が強化される。
- 3.1 JICが、CLDC F/Pコーディネーターを対象に、パイロット活動に必要な参加型開発手法の研修およびOJTを実施する。
- 3.2 CLDC F/Pが、パイロット地区住民のICD政策に対する理解向上に取り組む。
- 3.3 CLDC F/Pが、コミュニティ開発を支援するプログラムや組織に関する情報を収集し普及させる。
- 3.4 CLDC F/Pが、コミュニティのプロファイル情報を収集し提供す^ズ
4. ICD政策に基づいた持続的コミュニティ開発を実施するためのNCDC、ESPAの能力が強化される。
- 4.1 NCDCとESPAが、研修ニーズ調査に基づき、職員を対象とする研修活動を実施する。
- 4.2 NCDCとESPAが、コミュニティ開発を支援するプログラムに関する情報を収集し提供する。
- 4.3 NCDCとESPAが、NCDC/ESPAにおけるコミュニティのプロファイル情報を収集し提供する。
- 4.4 NCDCとESPAが、ICD政策に沿ったコミュニティ開発戦略を策定する。
5. ICD政策展開のプロセスが、パイロット活動の経験を統合することにより改善される。
- 5.1 JICとCLDC F/Pコーディネーターが、パイロット活動対象地区を公平かつ公正に選定する。
- 5.2 JICとCLDC F/Pが、対象地区の現状を把握し分析する。
- 5.3 JICとCLDC F/Pが、住民によるパイロット活動計画策定をファシリテートする。
- 5.4 JICとCLDC F/Pが、住民によるパイロット活動実施・管理をファシリテートする。
- 5.5 JICとCLDC F/Pが、対象地区住民の参加を得て、パイロット活動のモニタリング・評価を実施する。
- 5.6 JICとCLDC F/Pが、パイロット活動の実施プロセスから、グッドプラクティスと教訓を抽出する。
- 5.7 JICとCLDC F/Pが、5.1 から5.6の活動に基づいて、ICD政策展開のためのガイドラインを作成する。
6. ICD政策とそのアプローチがステークホルダーに認識される。

- | | | |
|---|--|--|
| <p>6.1 JICとCLDC F/Pが、ニュースレター、パンフレット、映像資料等、ICD政策についての各種広報資料を作成する。</p> <p>6.2 JICとCLDC F/Pが、ガイドラインや広報資料を活用し、セミナーやワークショップ等を開催することによって、一般の人々や関連組織に対して ICD政策に関する情報を広く提供する。</p> | | |
|---|--|--|

